

2026

*MOTOR SPORTS
HAND BOOK*



J A F 中部地域クラブ協議会

目 次

□役員名簿	
運営委員会・理事会.....	2
専門部会.....	3
委員会・事務局.....	3
□共通規則書	
2026年ジムカーナカレンダー.....	4
2026年ダートトライアルカレンダー.....	5
スーパー1500車両規定.....	6
RB車両規定とRB2000車両規定.....	7
ジムカーナ/ダートトライアル共通規則.....	8
2026年ラリーカレンダー.....	17
JMRC中部ラリーシリーズ共通規則書.....	18
JMRC中部ラリーシリーズ戦規定.....	26
□JMRC中部	
会 則.....	29
運営規定.....	33
□競技会救急安全委員規定.....	37
□JMRC中部地域クラブ協議会共済	
共済規定.....	39
共済運営要項.....	41
共済給付細則.....	42
社会的権利保全のための給付細則・給付区分表.....	44
クローズド競技会開催における登録・共済適用申請 に関わる基準.....	49
共催適用承認イベント申請基準.....	50
共済会加入とクラブ印のお話し.....	51
□互助会	
モータースポーツ互助会規約.....	52
モータースポーツ互助会加入のご案内.....	55
□スポーツ安全保険	
スポーツ安全保険加入支援規定.....	58
□振興基金	
JMRC中部モータースポーツ振興基金規定.....	59
□資 料	
2025年度加盟クラブ・団体数、他.....	60
加盟クラブ名簿.....	61
歴代チャンピオン名簿.....	65
2025年JMRC中部選手権表彰者名簿.....	71
2026年オーガナイザー連絡先.....	74

役員名簿

■運営委員会

【運営委員長】	嶽下 宗男	(FASC) JAFダート部会部会長
【副運営委員長】	青木 啓児	(NRC) JAF登録部会委員
【副運営委員長】	福田 淳三	(Three-R) JAFオートテスト・ドリフト振興活性化分科会委員
【事務局長】	村瀬 秋男	(CCST)
	岩崎 明夫	(FASC) 事業企画・総務委員長
	上村 誠児	(SMSC) JAF安全ガイドライン事故検証分科会座長/安全部会部会長
	小杉 兼一	(TOMBO) 審査員グループリーダー
	後藤 康次	(NRC) 共済会管理委員長
	齊藤 道夫	(R&R) ダートトライアル専門部会長
	関 哲也	(GSS) JAF技術部会委員
	瀬戸口 芳正	(NRC) JAFメディカル部会委員
	竜田 健	(ON!) ラリー専門部会長
	永井 伸一郎	(CCST) 福利厚生委員長
	長坂 宏	(NRC) レース専門部会長
	前島 孝光	(M-11) JAFオートテスト・ドリフト振興活性化分科会委員
	増田 好洋	(ZEST) モータースポーツ振興委員長
	松本 敏	(NRC) JAFターマック部会部会長/ジムカーナ専門部会長
	山崎 利博	(FASC) JAFダート部会委員

敬称略(50音順)

■理事会

【理事長】	鈴木 隆史		
【副理事長】	武山 策彌	【理事】	柘植 和廣 (会計監査役)
【理事】	青木 啓児	【理事】	福田 淳三
【理事】	鬼頭 正人	【理事】	村瀬 秋男
【理事】	嶽下 宗男	【理事会事務局】	長坂 宏

■レース部会

【部会長】	長坂 宏 (NRC)	【委員】	加藤 暢之 (NRC)
【副部会長】	上村 誠児 (SMSC)	【委員】	北堂 純 (GSS)
【副部会長】	関 哲也 (GSS)		
【事務局長】	青木 啓児 (NRC)		

■ラリー部会

【部会長】	竜田 健 (ON!)	【委員】	新堂 啓太 (SHIROKIYA)
【副部会長】	米谷 展生 (MASC)	【委員】	大弥 保憲 (MRT-金沢)
【事務局長】	鈴木 晴彦 (T.WOT・MASC)	【委員】	鎌野 賢志 (TAKE'S)

■ジムカーナ部会

【部会長】	松本 敏 (NRC)	【委員】	前川 源秋 (CAT)
【副部会長】	大橋 渡 (Pleasure)	【委員】	池田 峰輝 (RST)
【副部会長】	前島 孝光 (M-I)	【委員】	菅野 秀昭 (R&R)
【事務局長】	石井 公久 (Pleasure)	【委員】	東 宏充 (NRC)
【事務局長】	坂 和磨 (ZEST)	【委員】	山田 崇之 (RST)
【委員】	永川 悠太 (K-one R)	【委員】	渡邊 千尋 (PTA)
【委員】	大仲 敦 (TEAM ABC)	【委員】	森 浩二 (Team RS)
		【委員】	荻野 幸智子 (MASC)

■ダートトライアル部会

【部会長】	齊藤 道夫 (R&R)	【委員】	竹中 耕一 (B&B)
【副部会長】	山崎 利博 (FASC)	【委員】	寺田 伸 (T.T.G)
【事務局長】	小林 克人 (EATH)	【委員】	廣上 徹 (R-8石川)
【委員】	松本 知行 (TOMBO)	【委員】	奈良 勇希 (FASC)
【委員】	佐藤 靖朗 (MRT-金沢)	【委員】	増田 拓己 (NUAC)
【委員】	天野 佳則 (ANTELOPE)	【顧問】	落合 啓司 (EATH)

■審査委員グループ

【リーダー】	小杉 兼一 (TOMBO)	【委員】	豊田 昌孝 (SHERATON)
【委員】	福田 淳三 (Three.R)	【委員】	芳田 浩二 (BIG VAN)
【委員】	高井 喜一郎 (AASC)	【委員】	河西 信之 (FASC)
【委員】	村本 孝一 (Three.R)	【委員】	山内 泰 (NRC)
【委員】	坂 和磨 (ZEST)	【委員】	前川 源秋 (CAT)
【委員】	寺崎 誠治 (ARC)		

■モータースポーツ振興委員会

【委員長】	増田 好洋 (ZEST)	【委員】	菅野 秀昭 (R&R)
【委員】	井野 義一 (T-321)	【委員】	高橋 浩子 (AASC)
【委員】	小川 浩幸 (RUNABOUT)	【委員】	寺田 伸 (T.T.G)
【委員】	齊藤 道夫 (R&R)	【委員】	中田 博信 (KRM)
【委員】	佐々木 康行 (ZEST)	【委員】	坂 和磨 (ZEST)

■共済管理委員

【委員長】	後藤 康次 (NRC)
【会計監査】	柘植 和廣 (会計監査役)

■事業企画・総務委員会

【委員長】	岩崎 明夫 (FASC)	【委員】	佐々木 紀信 (TOOL BOX)
【委員】	小出 正則 (AASC)	【委員】	坂 和磨 (ZEST)

■事務局

【事務局長】	村瀬 秋男 (CCST)		
【委員】	寺崎 誠治 (ARC)	【委員】	長坂 宏 (NRC)

2026年JMRC中部ジムカーナカレンダー

月	日	全日本選手権	JMRC選手権	東海シリーズ	その他
1月	4				
	11				
	18				
	25				
2月	1				
	8			第1戦 豊田サーキットYRP桐山<E,F>	
	15			M-I (LIMIT/RST/PALMTOWN)	
	22				キョウエイシリーズ (ZEST) ①<F>
3月	1	第1戦 筑波サーキット コース1000		第2戦 豊田サーキットYRP桐山<E,F>	
	7-8	関東 T-SPiRiT	第1戦 豊田サーキットYRP桐山<D,F>	LIMIT	7_サーキットアタック(ZEST) ①<F>
	15		M-I		
	22				キョウエイシリーズ (ZEST) ②<F>
	29	第2戦 スピードパーク新潟		第3戦 美浜サーキットクミエ<E,F>	
4月	5	4-5 関東 THE-MC	第2戦 美浜サーキットクミエ<D,F>	RST	
	12		PALM TOWN/MMSC		11_サーキットアタック(ZEST) ②<F>
	19	第3戦 赤門自動車テストコース			
	26	25-26 東北 奥州VICiC			キョウエイシリーズ (ZEST) ③<F>
5月	3		第3戦 鈴鹿サーキット南コース<D,F>	第4戦 鈴鹿サーキット南コース<D,F>	
	10	第4戦 スタートランドTAMADA	NRC	NRC	9_サーキットアタック(ZEST) ③<F>
	17	16-17 中国 SLT			
	24				キョウエイシリーズ (ZEST) ④<F>
	31				
6月	7		第4戦 幸田サーキットYRP桐山<D,F>		レーシングドライブinFUJUKE(SHERATON) <E, F>
	14		M-I/PALM TOWN		
	21	第5戦 オートスタートランドスタガワ			20_サーキットアタック(ZEST) ④<F>
	28	27-28 北海道 C. S. C. C.			キョウエイシリーズ (ZEST) ⑤<F>
7月	5		第5戦 豊田サーキットYRP桐山<D,F>		
	12		LIMIT	第5戦 豊田サーキットYRP桐山<E,F>	11_サーキットアタック(ZEST) ⑤<F>
	19	第6戦 奥伊吹モーターパーク		M-I	
	26	25-26 近畿 Pleasure			キョウエイシリーズ (ZEST) ⑥<F>
8月	2			ナイターイベント 第6戦 幸田サーキットYRP桐山<E,F>	
	9			8-9 PALM TOWN	8_サーキットアタック(ZEST) ⑥<F>
	16				
	23		第6戦 イオクスアロースタートランド<D,F>		キョウエイシリーズ (ZEST) ⑦<F>
	30	第7戦 鈴鹿サーキット南コース	TOMBO	第7戦 美浜サーキットクミエ<E,F>	
9月	6	5-6 近畿 チーム淀		MMSC/PALM TOWN	
	13				
	20				19_サーキットアタック(ZEST) ⑦<F>
	27	第8戦 山梨県モーターパーク	第7戦 豊田サーキットYRP桐山<D,F>		キョウエイシリーズ (ZEST) ⑧<F>
10月	4	3-4 四国 ETOILE	M-I		
	11				
	18				17_サーキットアタック(ZEST) ⑧<F>
	25				キョウエイシリーズ (ZEST) ⑨<F>
11月	1	31-1 JAF CUP, JMRC全国オールスターズ'カーナ 中部(NRC) 鈴鹿サーキット南コース			
	8				
	15				14_サーキットアタック(ZEST) ⑨<F>
	22				キョウエイシリーズ (ZEST) ⑩<F>
	29				
12月	6				
	13				12_サーキットアタック(ZEST) ⑩<F>
	20				
	27				

8戦

7戦

7戦

注)キョウエイ幸田Srは会場都合で日程が変更となることがあります。最新情報はZEST-HPを参照ください

(注意) 主催者クラブ名/地区名の箇所が開催日

(D) 準国内

(F) クロスド

○開催場所:キョウエイシリーズ...キョウエイ ライバル、サーキットアタック...幸田サーキットYRP桐山

2026年度JMRC中部ダートトライアルカレンダー

月	日	全日本選手権	JMRC中部シリーズ		その他
			JMRC選手権	北陸シリーズ	
1月	4				
	11				
	18				
	25				
2月	1				
	8				
	15				
	22				
3月	1				
	8				
	15	第1戦 いなべモーターズスポーツランド			
	22	21、22 近畿 FREET			
	29				
4月	5	第2戦 テクニクスレーシング			池の平シリーズ第1戦(F) FASC
	12	11、12 九州 CRMC、FMSC	第1戦 いなべモーターズスポーツランド(D)		
	19	第3戦 丸和オートランド那須	FASC・T.T.G		
	26	25、26 関東 360R、FSC、M・S・Cうめぐみ			
5月	3				
	10		第2戦 池の平ワンダーランド(D)		池の平シリーズ第2戦(F) FASC
	17	第4戦 オートスポーツランドスガワ	CCST		
	24	23、24 北海道 AG.MSC北海道			
	31				
6月	7				池の平シリーズ第3戦(F) FASC
	14		第3戦 池の平ワンダーランド(D)		
	21	第5戦 エビスサーキット新南コース(スライドパーク)	FASC		
	28	27、28 東北 Team-F、SiF			
7月	5				
	12	第6戦 サーキットパーク切谷内			7/11ナイト 池の平シリーズ第4戦(F) FASC
	19	18、19 東北 MSCはちのへ	第4戦 池の平ワンダーランド(D)		
	26		ENAC		
8月	2				
	9				
	16				
	23				
	30				
9月	6	第7戦 いなべモーターズスポーツランド			
	13	12、13 中部 FASC、CCST、株式会社ゼスト			
	20				
	27		第5戦 いなべモーターズスポーツランド(D)		池の平シリーズ第5戦(F) FASC
10月	4	第8戦 テクニクスレーシング	T.T.G		
	11	10、11 中国 CCN、TBR			
	18				
	25				
11月	1	JAFカップオールジャパンダートトライアルin関東			
	8	7、8 T-SPIRIT、THE・MC スポーツランド信州			
	15	JMRC西日本ダートフェスティバルin四国			
	22	三好グラベルパーク			
	29				
12月	6				
	13				
	20				
	27				

※ (D)は準国内競技格式、(E)は地方競技格式、(F)はクローズド競技格式を表します。
Wは各JMRC中部シリーズを同日に併設して開催を行うことを表します。

スーパー1500車両規定 (S1500)

JAF国内競技車両規則のN車両規定に定められた一般改造規定および下記事項に従ったスピードB車両とする。

- ①排気量 : 1500cc以下の自然吸気エンジン (NAエンジン) とする。
上記の排気量以下であればハイブリッド車両での参加も認められる。
- ②駆動方式 : 前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する二輪駆動車とする。
- ③車両本体価格 : 250万円以下とする。
当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とする
- ④最終減速比 : ギア比の変更は、同一車両型式に設定されている純正部品およびメーカーオプションで、改造および加工の必要なく取り付けられるものであれば、ボルトオンを条件に許される。
- ⑤フライホイール : 変更は許されない。
- ⑥エアコン : 装着およびその機能を維持していること。
- ⑦参加制限 : 自動車検査証の初度登録年月が平成12年1月以降の車両であること。
- ⑧その他 : 各地区、各大会ごとにローカルルールを設ける場合がある。

以上

※本規定に疑義が生じた場合、JMRC中部ダートトライアル部会の決定を最終とする。

JMRC中部

2005年12月20日 制定	2010年 2月 1日 ハイブリッド、ローカルルール関係追記
2006年 1月 1日 施行	2010年12月30日 タイヤリストの変更
2006年 2月24日 タイヤリスト追記	2013年 1月15日 タイヤリストの追記、ダートラ地区戦の参加制限削除
2006年12月 5日 参加制限一部変更	2017年 1月31日 タイヤリストの追記
2008年12月 1日 タイヤサイズ改定	2018年 1月 1日 タイヤリストを削除
	2021年 1月 1日 最終減速比規定変更、タイヤ規定削除、参加制限一部変更、ジムカーナ記簿削除
	2025年 1月 1日 規定文面一部変更

2026年S1500 JMRC 中部ローカルルール

2026-01 : ●JMRC 中部全大会に適用

競技会場内に限り、エアバッグ、ABS等の制御をコントロールすることが出来る。
ただし、システムの変更および交換は許されない。
競技会場を出る際は、元の状態に確実に戻すこと。

2026-02 : ●JMRC 中部全大会に適用

当該自動車製造者発行のカタログ等に記載された主要諸元一覧表の車両重量とする。

2026-03 : ●JMRC 中部全シリーズに適用

シリーズの全主催者が同意し、各部会が認めれば使用タイヤの制限(ワンメイク等)を行うことが出来る。

JMRC 中部ローカルルールは中部地区のみの特別ルールです。

また、当該年度のみ有効とし、翌年については毎年再考されるものとする。

JMRC 中部 S1500 振興委員会
2026年 1月 1日 公示

RB車両規定

RB車両については、当該年国内競技車両規則 第3編スピード車両規定第7章スピードB車両規定にて課せられている以外に、当該年全日本ジムカーナ選手権統一規則 第2章 第2条 参加車両 ⑥) B車両を適用する。

ただし、使用タイヤについては、制限を行う。その詳細については特別規則書に記載する。

2026.1.6 JMRC 中部ジムカーナ部会

RB2000車両規定

RB2000クラス：気筒容積2000cc以下の自然吸気エンジンの後輪駆動のRB車両

① 後輪駆動のRB車両とする。

② 排気量

気筒容積2000cc以下の自然吸気エンジン（NAエンジン）とする。

③ 車両本体価格：320万円以下の車両をベースとする。

当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とする。

④ 参加可能車種

86・BRZ・MR2・MRS・アルテッツァ・カローラレビン・スプリンタートレノ・ロードスター・RX8・スカイライン・シルビア・180SX・ビート

参加可能車種は予告なく変更される場合がある。

⑤ エンジン

エンジン型式は違っていても同じ車体に設定のあるエンジンのみ交換、改造することができる。ただし、本体車両価格320以下の車両に搭載されているエンジンで、2000cc以下の自然吸気エンジン（NAエンジン）でなければならない。

2024.9.3 JMRC 中部ジムカーナ部会

J A F 中 部 地 域 ク ラ ブ 協 議 会 ジ ム カ ー ナ / ダ ー ト ト ラ イ ア ル 共 通 規 則

第 1 章 総 則

本共通規則は、中部地域における全てのジムカーナ／ダートトライアル競技会に適用される。本共通規則に記載されていない競技運営に関する実施細目および実施事項は、各競技会特別規則および公式通知によって示される。各競技会の特別規則は、第2章の内容記載を必須とする。各競技会特別規則の競技運営に関する細則は、本共通規則の第3章以下が適用される。尚、特別規則書に記載された内容は、その示す範囲において本共通規則に優先する。また、各競技会の参加者および競技運転者は、国内競技規則、当該競技会の特別規則および本共通規則を熟知して参加するものとする。

第 2 章 特別規則書の記載内容

公 示

本競技会は一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに、FIAの国際モータースポーツ競技規則に準拠したJAFの国内競技規則とその細則、JMRC中部共通規則、JMRC中部ジムカーナ／ダートトライアル選手権規定、スピード競技開催規定および本競技会の特別規則に従って開催される。

- 第 1 条 競技会の名称
- 第 2 条 競技種目
- 第 3 条 競技格式
- 第 4 条 開催日程
- 第 5 条 競技会開催場所（所在地・TEL・FAX）
- 第 6 条 オーガナイザー名および住所
- 第 7 条 大会役員
- 第 8 条 競技会主要役員
- 第 9 条 参加車両
- 第 10 条 クラス区分
- 第 11 条 参加資格
- 第 12 条 参加台数
- 第 13 条 参加申込および参加料
 - 1. 参加申込先および問合せ先
 - 2. 参加受付期間
 - 3. 参加料
- 第 14 条 競技のタイムスケジュール
- 第 15 条 賞 典
- 第 16 条 付 則
 - 1. 本特別規則に記載されない競技に関する細則はFIAの国際モータースポーツ競技規則に準拠したJAFの国内競技規則とその細則、JMRC中部共通規則、JMRC中部ジムカーナ／ダートトライアル選手権規定およびスピード競技開催規定に従って開催される。
 - 2. 本規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。

第 3 章 統一規則細則

第 17 条 参加車両

参加車両は以下のグループに分類される。

- A E 車両 : 当該年スピードA E 車両規定に適合した車両
- P 車両 : 当該年スピードP 車両規定に適合した車両
- P N 車両 : 当該年スピードP N 車両規定に適合した車両
- N 車両 : 当該年スピードN 車両規定に適合した車両
- S A 車両 : 当該年スピードS A 車両規定に適合した車両
- S A X 車両 : 当該年スピードS A X 車両規定に適合した車両
- B 車両 : 当該年スピードB 車両規定に適合した車両
- S C 車両 : 当該年スピードS C 車両規定に適合した車両
- D 車両 : 当該年スピードD 車両規定に適合した車両

RB車両 : 当該年スピードB車両規定にて課せられている以外に、当該年全日本ジムカーナ選手権統一規則 第2章 第2条 参加車両 7) B車両で使用タイヤの制限した車両

スーパー1500車両 : 当該年JMRC中部S1500車両規定に適合した車両、車両規則は別途記載(略称; S1500)

RB2000車両 : 当該年JMRC中部RB2000車両規定に適合した車両、車両規則は別途記載(略称; RB2000)

第18条 クラス

JMRC中部タイトル戦はJAF選手権規定を参考とした下記クラス区分とする。尚、JMRC中部タイトル戦以外の競技会はクラス区分を特別規則書に明記すること。

1. ジムカーナ

1) JMRC中部選手権

AT : オートマチック限定免許で運転できるP/PN/AE/B車両*2

PN1 : 気筒容積 1500 cc未満の前輪駆動のPN車両 (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2018年1月1日以降の車両)*2

PN2 : 気筒容積 1600 cc以下の2輪駆動(FF、FR)のPN車両*2

PN3 : 車両型式ZN6(トヨタ86)およびZC6(スバルBRZ)のPN車両に限る*2

PN4 : 気筒容積 1600 ccを超える2輪駆動(FF、FR)のPN車両*2

PN5 : PN1~PN4に該当しないPN車両*2

B・SC1 : 気筒容積 1600 cc以下のSAX/B/SC車両*1

B・SC2 : 気筒容積 1600 ccを超える前輪駆動のSAX/B/SC車両*1

B・SC3 : 気筒容積 1600 ccを超える後輪駆動のSAX/B/SC車両*1/*3

B・SC4 : 4輪駆動のSAX/B/SC車両*1/*3

D : (区分なし)

*1の記号のあるクラスは当該年全日本ジムカーナ/ダートトライ選手権統一規則 第2章 第2条 参加車両 を適用する。(タイヤ規制等)

*2の記号のあるクラスは使用タイヤの制限を行う。

*3の記号のあるクラスは使用タイヤの緩和を行う。

その詳細については特別規則書に記載するものとする。

2) JMRC中部ミドル選手権

下記クラスを設けることができる。

AT : オートマチック限定免許で運転できるP/PN/AE/RB車両*2

CPN1 : 2輪駆動でコストコントロールタイヤのPN車両*2

PN1 : 気筒容積 1500 cc以下の前輪駆動のPN車両*2

PN2 : 気筒容積 1600 cc以下の2輪駆動(FF、FR)のPN車両*2

PN3 : 車両型式ZN6(トヨタ86)およびZC6(スバルBRZ)のPN車両に限る*2

PN4 : 気筒容積 1600 ccを超える2輪駆動(FF、FR)のPN車両*2

PN5 : PN1~PN4に該当しないPN車両*2

CRB1 : 2輪駆動でコストコントロールタイヤのRB車両*2

RB1・2 : 2輪駆動のRB車両*2

RB3 : 4輪駆動のRB車両*2

RB2000 : 気筒容積 2000cc以下の自然吸気エンジンの後輪駆動のRB車両*2
(車両規定はRB2000車両規定を運用する)

B・SA1 : 気筒容積 1600 cc以下の2輪駆動のB/SA/SAX車両

B・SA2 : 気筒容積 1600 ccを超える2輪駆動のB/SA/SAX車両

B・SA3 : 4輪駆動のB/SA/SAX車両

SC・D : クラス区分なしのSC車両およびD車両

但し、予想参加台数に応じて、各シリーズにクラスを統合することが出来る。

*2の記号のあるクラスは使用タイヤの制限を行う。

その詳細については特別規則書に記載するものとする。

その他の部門:(JMRC中部認定外クラス)

併設クラスとしてJAF規定の範囲内で自由にクラスを設定できる。

但し、シリーズ全戦に設けること。詳細は各シリーズにて別途発表する。

2. ダートトライアル

1) JMRC中部選手権

2P：クラッチペダルを有さない2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両。

ただし、ディファレンシャルの変更、改造および加工は許されない。

RWD：排気量によるクラス区分を行わず、後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC・D車両

PN1・S1500：気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両

(車両規定はスーパー1500車両規定で運用する)、

気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両、全てのAE車両

N：排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のN車両

S1：排気量によるクラス区分を行わず、2輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両・D車両

S2：排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のSA・SAX・B・SC車両・D車両

2) JMRC中部ミドル選手権(北陸シリーズ)

北陸シリーズ

クラス1：気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両

クラス2：排気量によるクラス区分を行わず、後輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両

クラス3：気筒容積1500ccを超える2輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両

クラス4：排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両

第19条 参加資格

参加資格は、競技会特別規則書に規定される場合を除き、以下のとおりとする。

1. 競技運転者は、有効な運転免許証と当該年度有効なJAF競技運転者許可証所持者とする。
2. 競技運転者は、競技に有効な死亡時500万円以上の損害保険またはJMRC中部共済に加入していること。

第20条 参加人数の制限

各競技会の特別規則書に記載すること。

1. ダートトライアルは最大150名まで、ジムカーナは最大200名までを原則とする。
2. 同一運転者は1つの競技会で1つのクラスのみ参加できる。
3. 同一車両による重複参加は認められるが、同一運転者によって運転されてはならない。

1) JMRC中部選手権は2名までとする。

但し、以下の場合を除き同一クラスに限る。

- ・レディースクラスとの重複参加
- ・併催する選手権外のクラスとの重複参加

第21条 参加車両名の制限

参加車両名は半角文字、記号を含み全て15文字以内とする。

必ず車両名(型式ではなく、通称名：シビック、ランサー等)を入れること。

例：〇〇クラブシビック、〇〇商店ランサー

車名違反があった場合、主催者の権限により通称名のみを参加車両名とする。

第22条 参加申込方法および受け付け

1. 参加申込の受付期間は、当該競技会の特別規則書に記載されている場合を除き、競技会開催日の1ヶ月前から10日前までとする。
2. 指定の参加申込書に必要事項を記入し、参加料を添えて各オーガナイザーの事務局に申し込むこと。
3. 同一車両による重複参加をする場合は、参加申込み時に重複参加全員の氏名と希望走行順を記載のこと。
4. 申し込み方法は、当該競技会の特別規則書に記載されている場合を除き、申込先に直接持参または郵送とする。尚、郵送の場合は現金書留とする。
5. オーガナイザーは、競技開催日の5日以前までに、拒否の理由を参加申込者に通告した上で、参加を拒否することが出来る。この拒否の決定は最終的なものであり異議申し立ては認められない。

この場合の参加料は返却手数料として参加料から1000円を差し引いて申込者に返金する。尚、正式受理後の参加料は、本規則の35条の2.の場合を除き、いかなる理由があっても返金されない。

6. 参加受理の諾否は特別規則に特に規定されていなければ、オーガナイザーは参加申込書を受け付けたのち、速やかに通知する。通知が届かない場合は、大会事務局に問い合わせること。但し、大会によってはホームページ等での発表のみの場合もある。

第23条 車両および競技運転者の変更

1. 参加申込正式受理後の車両変更は、参加車両に故障、破損等やむをえない事情が有る場合のみとし、競技会審査委員会の承認を得ること。
2. 車両変更は同一部門同一クラスであること。
3. 車両変更申請は当該競技会の公式受付（参加確認受付）終了までとする。

第4章 競技運営に関する規定

第24条 車両検査

1. 車両検査は、特別規則または公式通知に示されるタイムスケジュールに従って指定の場所で受けなければならない。車両検査を受けない場合、車両検査で不合格の場合、または技術委員長の修正指示に従わない場合は当該競技会に参加できない。
2. 全ての参加者は、車両検査と同時に服装、装備、備品について検査を受けること。
3. 技術委員長は、車両の改造等が不相当と判断した個所に着いて修正を求める事が出来る。修正を命ぜられた車両は、修正後に再度車検を受けなければならない。
4. 技術委員長の求めが有った場合、各自の参加車両が車両規定に適合していることを車両公認書、車両諸元表、カタログ等を提示して証明しなければならない。
5. 技術委員長は、競技期間中いつでも参加車両およびドライバーの参加資格について検査をする事が出来る。
6. 競技番号（ゼッケン）は、オーガナイザーが決定する。競技番号はオーガナイザーが用意した物を使用し、車両検査前までに指定された位置に折り曲げることなく正しく貼り付けること。全周をテーピングすること。（ジムカーナのシードゼッケンは除く）
7. 競技終了後、原則として上位入賞車両の再車両検査を行う。尚、技術委員長が行う検査および再車両検査の分解および組み付けに必要な工具、部品、必要経費は全て参加者の負担とする。万一、当該検査を受けない場合または検査の結果が不合格の場合は失格となる場合がある。

第25条 競技車両のパドック待機

1. 全ての競技車両は、車両検査終了後から正式結果発表までの間、指定駐車待機場所で保管されているものとする。但し、コースを走行中または走行のための移動を除く。
2. 待機中の競技車両は、タイヤ交換および空気圧調整、プラグ交換、Vベルト交換（調整）、車高調整、ショックアブソーバーの減衰力調整、空力装置の調整作業を除き、変更、交換作業を行う場合は、事前に技術委員長の許可を得ること。
3. 重複参加車両のタイヤ交換は、レディースクラスとの重複参加を含み、同一ヒート内では不可とする。但し、競技長の許可を得た場合はこの限りではない。（ジムカーナに適應）
4. 「再出走」による車両に対して認められる作業内容は、ボンネットの開閉、タイヤの清掃（作業用手袋のみ使用可）・空気圧調整および窓拭きのみとし、その他の作業については一切禁止される。（ジムカーナに適應）
5. 「同一車両による重複参加」による前走行車から後走行車へ交代する際に車両に対して認められる作業内容は、ボンネットの開閉、タイヤの清掃（作業用手袋のみ使用可）・空気圧調整および窓拭きのみとし、その他の作業については一切禁止される。（ジムカーナに適應）
6. 「再出走」による車両に対して認められる作業内容は、ボンネットの開閉、タイヤの空気圧調整、窓拭きおよび水による冷却のみとし、その他の作業は一切禁止される。（ダートトライアルに適應）
7. 「同一車両による重複参加」による前走者から後走者へ交代する際に車両に対して認められる作業内容は、ボンネットの開閉、タイヤの空気圧調整、窓拭き、水による冷却およびタイヤの交換のみとし、その他の作業は一切禁止される。（ダートトライアルに適應）

第5章 競技に関する規定

第26条 コースの慣熟

オーガナイザーは、公式通知にて発表したコースについて、参加者のために慣熟走行または慣熟歩行にてコースの慣熟を行うこと。

但し、慣熟走行する場合は、車両検査に合格した車両にて走行のこと。

第27条 スタート方式

1. ジムカーナのスタートは、ランニングスタートとする。ダートトライアルのスタートは、スタンディングスタート、またはランニングスタートのいずれかとする。その方式を特別規則書に明示すること。
2. スタート合図は国旗またはクラブ旗を用いる。信号機を用いる場合は、青信号がスタート合図となる。
3. スタートは原則としてゼッケン順に行う。スタートの指示に従わない場合は当該ヒートの出走の権利を失うものとする。
4. スタート合図後、速やかにスタートしない場合は、当該ヒートの走行タイムにペナルティー

として5秒を加算する。(ランニングスタートに適用)

第28条 計時

1. 計測は、自動計測機器または2個以上のストップウォッチを使用して行う。ストップウォッチを使用した場合は、その平均を記録する。
2. 計測は、スタンディングスタートの場合はスタートの合図が行われた瞬間より、ランニングスタートの場合は競技車両が最初のコントロールラインを横切ったときより開始し、最終のコントロールラインを横切ったときに終了する。

第29条 順位決定

原則として2ヒート行い、その内の良好なタイムを採用し最終の順位(競技結果)とする。もしくは、2ヒートの合計タイムを採用し最終の順位(競技結果)とすることとし、特別規則書に明示すること。公式通知で明示する場合は参加申込み開始前に発表すること。

同タイムの場合は下記に従い順位を決定する。

1. 2ヒートのうち良好なヒートのタイムを採用する場合
 - 1) セカンドタイムの良好な者
 - 2) 排気量の小さい順
 - 3) 競技会審査委員会の決定
2. 2ヒートの合計タイムを採用する場合
 - 1) ベストタイムの良好な者
 - 2) 排気量の小さい順
 - 3) 競技会審査委員会の決定
3. 成績表でのタイムが残らない場合の表記を下記とおりとする。

・当該ヒートでスタートができない場合：DNS また、不出走

・車両トラブル等で他の援助を得た場合：DNF また、当該ヒートリタイヤ
また、当該ヒート無効

・競技コースから離脱した場合：ミスコース また、当該ヒート無効

・リタイヤ届が提出された場合(ヒートごと)：リタイヤ

第30条 信号旗合図

スタート旗	→ 競技スタートの信号。国旗またはクラブ旗を用いる
黄旗	→ パイロン移動、転倒(真横または真上に静止し提示)
黄旗	→ 脱輪(ジムカーナに適用)
黒旗	→ ミスコース
赤旗	→ 危険有り、直ちに停止せよ
緑旗	→ コースがクリアされた
チェッカー旗	→ ゴール

第31条 競技上のペナルティー

1. コース上のペナルティー対象に指定されたパイロンを移動または転倒させたと判定された場合、1個について5秒を走行タイムに加算する。
ジムカーナ：車体の一部が触れてマーカーからずれた場合。
ダートトライアル：車体の一部が触れてパイロンが移動し、マーカーが現れた場合。パイロン以外にペナルティー対象となるものがある場合は、その判定基準および加算タイムを参加者に発表すること。
2. ミスコースをした場合は、当該ヒートを無効とする。但し、ミスコースに気付き、ただちに車両を正しいコースに戻した場合はこの限りではない。ミスコースと判定され、競技運営上に重大な支障をきたすと判定された場合は、赤旗を提示して車両を停止させる事もある。
3. 走行中に他の援助(オフィシャルを含む)を得た場合、当該ヒートを無効とする。
4. ゴール後は、減速エリア内で確実に減速を行うこと。充分減速を行わなかった場合は当該ヒートのタイムに5秒を加算する。
5. 反則スタートは当該ヒートの走行タイムに5秒を加算する。
6. ジムカーナにおいては、コースから脱輪した場合、1輪につき1回5秒を加算する。
また同時に4輪がコースから脱輪した場合(コースアウト)は、当該ヒートを無効とする。
7. ジムカーナにおいて、フリーターンを設定する場合、判定方法をブリーフィングで発表すること。フリーターンが不通過と判定された場合は、ミスコースとする。
8. コントロールラインに設置してある計測機器に車両が接触した場合、接触した車両の該当ヒートを無効とする。

第32条 抗議

1. 抗議権

抗議権は、競技参加者のみが有するものとする。競技役員は抗議がなされた場合でも抗議がない場合と同様に自己の権限における公式な行動を正当に遂行しなければならない。複数の競技参加者に対して抗議を行いたい競技参加者は、該当する行為に関係する競技参加者全員について抗議を提出しなければならない。複数の競技参加者は、共同の抗議を提出することはできない。

2. 抗議の提出

競技参加者の抗議は、抗議の趣旨および理由を示す文書に署名の上（宛先は競技会審査委員会）、J A Fが規定する抗議料を添えて当該競技会競技長に提出しなければならない。競技長が不在の場合には、競技会事務局長に提出することができる。抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。

3. 抗議の対象と制限時間

競技参加者が抗議できる事項は次の各号のみとし、特別規則または競技会審査委員会が特に指定する場合を除き、各々に指定された時間内に提出しなければならない。

- 1) 競技参加者、競技運転者の参加資格の有効性あるいはコースの長さに関する抗議は、その競技のスタートの1時間前までとする。
- 2) ハンディキャップまたはヒートの編成に対する抗議は、その競技のスタートの1時間前までとする。
- 3) 自己の車両に関する技術委員または車両検査員の決定に対する抗議は、決定直後とする。
- 4) 競技中の過失または反則に対する抗議、あるいは車両規則違反に対する抗議は、その競技の終了後30分以内とする。
- 5) 競技の順位に関する抗議は、その成績発表後30分以内とする。

4. 抗議の裁定

競技に関する抗議は、競技会審査委員会が裁定する。その裁定に不服な場合は、国内競技規則によってJ A Fのモータースポーツ審査委員会あてに控訴することができる。

5. 抗議の審問

競技会審査委員会は、抗議の審査に必要な場合にはできるだけ速やかに関係者を呼び審問を行う。関係者は審問に応じなければならないが、証人を同道することができる。競技会審査委員会は、関係者のすべてがそれぞれ直接召喚を受けているか否かを確認しなければならない。競技会審査委員会は、関係者または証人が欠席の場合でも審議裁定することができる。裁定が関係者の審問後速やかに行うことができない場合は、裁定が行われる場所および時間を関係者に通告しなければならない。

6. 受け付けられない抗議

国内競技規則10-20に掲げる審判員がその役務遂行中に行った判定に対しては、いかなる抗議も受け付けられない。複数の競技参加者に対する単一の抗議は受け付けられない。複数の競技参加者による共同の抗議は受け付けられない。

7. 賞の授与

- 1) 賞の授与は、競技成績の発表後30分経過するまで行ってはならない。
- 2) 抗議が提出され、その裁定結果が受賞資格に影響する場合には、抗議の裁定が確定するか、さらにその裁定に対する控訴についての裁定があるまでの間、関係する競技成績は暫定結果として扱い、賞の授与を行ってはならない。
- 3) 賞が授与された後に、競技の成績に影響するような裁定により資格を喪失した場合、競技参加者は賞をオーガナイザーに返却しなければならない。

8. 再競技

競技会審査委員会またはJ A Fのいずれも再競技を命ずる権限はない。ただしその競技がなんらかの事情で未成立となった場合に限り、オーガナイザーが当該競技の競技参加者（出場資格を得た者）全員の同意を得たうえで再競技を行うことができる。

9. 裁定

抗議に対する裁定は、競技会審査委員会が行い、抗議者に宣告される。不服の場合は、第33条に基づいて控訴する権利を有する。

10. 無根拠もしくは邪意による抗議の禁止

- 1) 抗議に根拠がないと判明したときは、抗議料は没収される。
- 2) 邪意をもって行ったことが確認されたときは、本規則の違反と見なされ罰則が課せられる。

第33条 控訴

1. 権限の範囲

JAFは、国内競技規則14-2に規定する国内裁定機関としてその所管する許可証所持者のために、自動車スポーツ全般もしくは特定の競技に関して、日本国内で発生した一切の紛争を審査、決議をするモータースポーツ審査委員会、および諸規則の施行および競技により発生した紛争の最終的な裁定を行う機関としてモータースポーツ中央審査委員会を置く。

2. 控訴権

1) 競技参加者は、競技会審査委員会による決定や裁定に不服の場合、JAFのモータースポーツ審査委員会に控訴する権利を有する。ただし、次のいずれかの場合に限られる。

(1) 自らに課された罰則または決定に不服の場合

(2) 自ら提出した抗議の裁定に不服の場合

控訴を行う者(以下「控訴人」という。)は、競技会審査委員会の裁定宣告から1時間以内にその意思を文書でもって競技会審査委員会に通告しなければならない。この手続きを行わない場合は控訴権を失う。(控訴の手続き、控訴時間制限を参照)

2) 当該控訴人は、モータースポーツ審査委員会に対し行った控訴の裁定に不服の場合は、あらためて第33条4-3)に従いJAFのモータースポーツ中央審査委員会に控訴する権利をもつ。

3) 国内競技規則11-1-3)あるいは4)等の規則違反によりモータースポーツ審査委員会により罰則を課された者がその罰則を不服とする場合は、第33条4-3)に従いモータースポーツ中央審査委員会に控訴することができる。

4) 国内で行われる競技会については、JAFの許可証所持者に対するモータースポーツ中央審査委員会の裁定を最終のものとする。

3. 国内控訴の手続

JAFのモータースポーツ審査委員会に対し控訴する場合は、控訴人または資格ある代理人の署名した控訴する意思および理由を示す文書、およびJAFが定める控訴料を添えて4.に定める時間内に競技会審査委員会に提出しなければならない。控訴料は、控訴を断念した場合は一切返還されない。

4. 控訴の時間制限

1) 競技会審査委員会が行った抗議の裁定あるいは決定した罰則等を不服としてJAFのモータースポーツ審査委員会に控訴する場合は、その裁定または決定の告知より1時間以内に、モータースポーツ審査委員会あてに控訴する意思を示す文書に控訴料を添えて当該競技会審査委員会に提出しなければならない。

2) 控訴の理由を示す文書については、競技会審査委員会に規定の時間内に控訴の意思表示および控訴料の納付を行ったことを条件に、当該告知日より4日以内に直接JAFに提出することができる。この手続きは同期間内に本連盟あてのファクシミリ、eメールまたは郵送で行うことができる。

所定の期間内に控訴の理由書の提出がなされなかった場合は、その控訴は断念されたものとみなされ、すでに支払われた控訴料については返還されない。

3) 提出した控訴がJAFのモータースポーツ審査委員会によって裁定された後、それを不服としてJAFのモータースポーツ中央審査委員会に控訴する場合は、当該控訴人は、その裁定告知日より7日以内に、あらためて控訴の趣旨および理由を示す文書ならびに控訴料をJAFモータースポーツ中央審査委員会に提出しなければならない。

5. 控訴中の資格の効力

モータースポーツ中央審査委員会に控訴が行われた場合でも、資格停止または資格取消の裁定は控訴とは関係なく効力を発揮し実施される。

6. 控訴の審問

JAFのモータースポーツ審査委員会またはモータースポーツ中央審査委員会による控訴の審査は、受理された日から90日以内に審問が行われ裁定される。審問の通知は関係者に対し的確に行われ、関係者は審問に応じなければならないが、必要な場合は証人を同行することができる。モータースポーツ審査委員会およびモータースポーツ中央審査委員会は、通告した関係者が出席しない場合でもその審議を行ない裁定することができる。また、モータースポーツ審査委員会およびモータースポーツ中央審査委員会は、当事者とは無関係に全日本選手権競技会の競技参加者のうちから、本審問の裁定結果次第では直接かつ重大な影響を被る可能性のある者を要請に応じて事情聴取することができる。また、そのような可能性のある者は、自らの責任で、当該告知日より7日以内に書面によりJAFに対して事情聴取を要請するものとする。

7. 控訴に対する裁定

モータースポーツ審査委員会およびモータースポーツ中央審査委員会は、控訴された罰則または裁定を取消し、またはあらためて異なる罰則を課することができるが、再競技を命

ずることはできない。

8. 控訴料および経費
控訴に対して裁定を下す時、モータースポーツ審査委員会およびモータースポーツ中央審査委員会は事情に応じて控訴料の返還または没収、または、とくに審査で必要が生じた経費の負担について決定することができる。
9. 裁定の公表
JAFは、控訴に関する裁定を公表し、または発表させ、あるいは関係者のすべての氏名を公表する権限をもつ。当該関係者は、JAF告示を発表もしくは刊行する者に対しその行為を妨害してはならない。

第34条 損害の補償

1. 参加者および競技運転者は、参加車両および付属品等の損傷、盗難、紛失等の損害、または参加者および競技運転者が会場の設備、器物を破損させた場合の保証等は、理由の如何にかかわらず各自が責任を負わなければならない。
2. 参加者、競技運転者、ヘルパー、ゲストは、JAFおよびオーガナイザーの大会役員、競技役員が一切の損害補償の責任を免除されている事を了承していなければならない。即ち、大会役員、競技役員がその役務に最善を尽くす事はもちろんであるが、万一その役務遂行によって起きたものであっても参加者、競技運転者、ヘルパー、ゲスト、大会関係者の死亡、負傷、車両損害に対しての一切の損害賠償責任を負わないものとする。

第35条 競技会の延期、中止または短縮

1. 保安上または不可抗力のため競技会の実施あるいは続行が困難になった場合、競技会審査委員会の決定により競技会の延期、中止、短縮を行う場合がある。
2. オーガナイザーは、競技会の延期のため参加者が出場できない場合または中止の場合、参加料を返還する。但し、天災地変の場合はこの限りではない。

第6章 一般規定

第36条 参加者および競技運転者の^{じきんしゆ}遵守事項

次の事項を遵守しない参加者および競技運転者は、当該競技会において競技会審査委員会の決定により重大なペナルティーを課す場合がある。

1. 全ての競技運転者は、ドライバーズブリーフィングに必ず出席しなければならない。
2. 全ての参加者は、明朗かつ公正に行動し言語を慎み、スポーツマンシップに則^{のっと}ったマナーを保たねばならない。
3. 競技期間中は、薬品等によって精神状態を^{つくる}繕ったり、飲酒をしてはならず、許可された場所以外での喫煙を禁止する。
4. オーガナイザーや大会後援者、競技会審査委員会の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。
5. ゴール後、停止ラインのある場合は一旦停止すること。
6. 競技コース以外の会場内での移動は、最徐行（10km/h以下）で運転し、ウォームアップやブレーキテストを禁止する。
7. 慣熟走行を含み、競技中はヘルメット、安全ベルトを着用し、運転席側の窓およびサンルーフの窓は全閉のこと。また、その際はレーシングスーツ、レーシングシューズ、レーシンググローブの着用を強く推奨するが一般に不快感を与えない長袖、長ズボン、運動靴、穴の空いていない皮製または耐火性のグローブでも良い。
競技会場内に限り、運転席側の窓内側にネットを装着することができる。
8. 競技運転者は、表彰式に競技長の許可を得ずに欠席してはならない。
9. ヘルメットについて、詳しくは当該年度JAF国内競技車両規則第4編付則「スピード競技用ヘルメットに関する指導要項」を参照のこと。

第37条 JMRC中部遵守事項

1. ジムカーナ規制
 - ・パドック移動からゴールまでの間、コースコンディション確保のため、インタークーラーウオッシャー等の使用は禁止する。
 - ・JMRC中部ジムカーナ選手権においてはレーシングスーツ、レーシングシューズ、レーシンググローブの着用を義務付ける。なお、耐火炎のものを強く推奨する。
 - ・電動スクレーパー等、工具を用いたタイヤ屑の除去は認められる。
ただし、作業は車体からタイヤを外した状態で行うこととし、動力を用いてタイヤを回転させながらの作業およびヒートガンの使用は禁止される。タイヤ屑は各自持ち帰ること。
 - ・競技車両の牽引ブラケット設定されている側に矢印ステッカー等で位置を明示すること。
なお、牽引ブラケットが黄色、オレンジ色、あるいは赤色に塗装されている場合は不要。

2. ダートトライアル規制

- ・パドック内で給油する場合は、粉末消火器(国家検定合格済の薬剤質量3kg以上)を準備し、給油すること。(粉末消火器はオーガナイザーからの借用も含む)
- ・JMRC中部ダートトライアル選手権においてはレーシングスーツの着用を義務付ける。
なお、耐火炎のものを強く推奨する。
- ・**競技車両の前後の牽引ブラケット位置を矢印ステッカー等で明示すること。**
なお、牽引ブラケットが黄色、オレンジ色、あるいは赤色に塗装されている場合は不要。

第38条 本規則の解釈および違反

1. 本規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。
2. 本規則に対する違反は、競技会審査委員会が決定し罰則を与える。

第39条 本規則の施行および記載されていない事項

本共通規則の適用は、各競技会の参加申込受付と同時に有効となる。

また、本共通規則に記載されない事項についてはFIAの国際モータースポーツ競技規則に準拠したJAFの国内競技規則とその細則、JMRC中部ジムカーナ/ダートトライアル選手権規定およびスピード競技開催規定に準拠する。

以上

JAF中部地域クラブ協議会
JMRC中部ジムカーナ部会
JMRC中部ダートトライアル部会

2026 JMRC中部ラリーカレンダー

月	日	JAF全日本・地方選手権(中部・近畿)		JMRC中部			その他イベント
		全日本ラリー選手権	中部近畿ラリー選手権	チャンピオン	チャレンジ	その他関連イベント	
3	2/27~3/1	2/27~3/1 ①RALLY三河湾<愛知>(T)					
	7~8						
	14~15						
	21~22						
	28~29						
4	4~5	3~5 : ②SAGA RALLY <佐賀>(T)					
	11~12						
	18~19						
	25~26						
5	2~3						
	9~10	8~10 : ③ YUHO Rally 飛鳥 <奈良>(T)					
	16~17						16~17 : TGR富士山すその(*)
	23~24						
	30~31						28~31 : Rally Japan
6	6~7		6~7 : ①いなべ東近江ラリー (ON!)	6~7 : ①←			
	13~14	19~21 : ④久万高原ラリー<愛媛>(T)					
	20~21						
	27~28		27~28 : ②丹後半島ラリー(OECU-AC)				
7	4~5						
	11~12	10~12 : ⑤ARKラリー・カムイ<北海道>(G)					11~12 : TGR恐竜勝山(*)
	18~19						
	25~26						
8	1~2		1~2 : ③やましろのくにラリー(T.O.F)				
	8~9						
	15~16						
	22~23						
	29~30						
9	5~6	4~6 : ⑥RALLY HOKKAIDO<北海道>(G)					
	12~13						
	19~20		19~20 : ④神大ラリー(SHINDAI)				
	26~27	25~27 : ⑦MSCCラリー<福島>(T)					26~27 : TGRびわ湖高島(*)
10	3~4						
	10~11		10~11 : ⑤シロキヤラリー(SHIROKIYA)	10~11②←			
	17~18	16~18 : ⑧M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ<岐阜>(T)					
	24~25						24~25 : TGR高岡万葉(*)
11	31~1						
	7~8		7~8 : ⑥豊田しもやまラリー(MASC)	7~8 : ③←			
	14~15						
	21~22	20~22 : ⑨MONTRE<群馬>(T)					21~22 : モア(Team-More)(**)
	28~29						28~29 : TGR豊田(*)
12	5~6			5~6 : ④WOMEN'S RALLY in ENA(MASC)	5~6 : ←		
	12~13						
	19~20						
	26~27						

全日本ラリー選手権路面 (T)ターマック、(G)グラベル

○丸数字は選手権戦数

(*)暫定カレンダー

(**)日程変更予定

2026年JMR C中部ラリーシリーズ共通規則書

第1章 総則

本共通規則は 2026年に開催されるJAF中部地域クラブ協議会（以下JMR C中部と称する）ラリーシリーズ競技会に適用される。

本共通規則書に記載されていない競技運営に関する実施細目および指示項目は、各競技会特別規則書および公式通知によって示される。尚、各競技会特別規則書に記載された内容は、その指示する範囲において本共通規則より優先する。

また、各競技会の競技参加者および競技運転者（クルー）は当該年度JAF国内競技規則およびその細則、当該年度JAF国内競技車両規則、JAFの公示、本共通規則、JMR C中部ラリーシリーズ戦規定および各競技会特別規則を熟知・承認して参加するものとする。

第2章 特別規則書に記載する内容

公示

本競技会は、FIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則ならびにそれに準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則およびその細則（2026年日本ラリー選手権規定）JMR C中部共通規則、JMR C中部ラリーシリーズ戦規定、および本大会特別規則に従って開催される。

第1条 競技会のスケジュール

- 1) 参加申込の開始および締切日時
- 2) サービスパークオープン日時
- 3) レッキの受付日時および場所 : : :
- 4) レッキフリーフィングの日時および場所 :
- 5) レッキの開始日時
- 6) 参加確認の日時および場所
- 7) 公式車検の日時および場所 : :
- 8) 第一回審査委員会の日時および場所 :
- 9) フリーフィングの日時および場所 :
- 10) スタートリスト発表の日時および場所 :
- 11) スタートの日時(1号車)および場所 :
- 12) フィニッシュの日時(1号車)および場所 :
- 13) 再車検の日時および場所 :
- 14) 暫定結果の発表日時および場所 (予定) :
- 15) 表彰式の開催日時および場所 (予定) :

第2条 競技会の名称

2026年JAF中部・近畿ラリー選手権第○戦

2026JMR C中部ラリーチャンピオンシリーズ第○戦 ○○○ラリー

2026JMR C中部ラリーチャレンジシリーズ第○戦 ○○○ラリー

第3条 競技会の格式

JAF公認：○○格式競技 公認番号：2026-0000号

第4条 競技種目

ラリー競技開催規則の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

第12条 競技会有効任意保険

- 1) ドライバー、コ・ドライバーは、ラリー競技に有効な対人賠償保険（又は各種共済等）及び搭乗者保険（又は各種共済等）対物賠償保険（又は各種共済等）に加入すること。
- 2) 当該ラリーに有効な上記任意保険等について、保険証書または保険の加入とその内容を証明できる書類の写しをオーガナイザーの指定する期日までに提出し、原本は当日参加確認受付に持参すること。

第13条 整備作業

1. 整備作業の監督を担当する競技役員名：
2. 整備作業を行うことができる場所：
3. サービスカーの管理方法：
4. 整備作業の報告
5. 整備作業の範囲
 - 1) タイヤの交換
 - 2) ランプ類のバルブ交換
 - 3) 点火プラグの交換
 - 4) Vベルトの交換
 - 5) 各部点検増締め
 - 6) 整備申告書の提出によりオーガナイザーが認めた1)～5)以外の整備作業
 上記1)～5)以外の整備作業を行なう場合は、競技会技術委員長の許可を得て行ない整備作業後には所定の整備申告書を必ず提出すること。
6. ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージ開催規定第3章第16条サービスに該当しないサービスを設ける場合、細則に記載すること。

第14条 賞典**第15条 ラリー行程表（細則）****第3章 競技参加に関する基準規則****第16条 参加車両**

チャンピオンシリーズについては2026年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定（R R N・R J・R P N・R F・A E）に従った車両とし、チャレンジシリーズについてはこれに加えてF I A公認車両またはJ A F登録車両で、2002年12月31日以前に運輸支局等に初度登録され、かつ2002年J A F国内競技車両規則第3編ラリー車両規定に従った車両（R B車両）も参加できる。但し、いずれの車両も下記の条件を満たすこと。

1. 純正又は車検対応マフラーを装着していること。
R P N・A E車両は、2026年JAF国内車両規則に準じること。
2. 各車両規定に定められている仕様の消火器を装備すること。
3. 非常用停止表示板（三角）2枚、非常用信号灯用具（発炎筒・赤色灯等）、牽引用ロープ、OK/SOSマーク（A3）2枚、救急用品を携行していること。
非常用停止表示板（三角）及びOK/SOSマークは、クルーが着座した状態で工具を使用することなく取り出せる場所に設置すること。
4. メーカーラインオフ時に装備されている安全ベルト（3点式等）に加え、4点式以上の安全ベルトを装備すること。6点以上のF I A公認安全ベルト（有効期限内）の装着を強く推奨する。

5. 2026 J M R C中部ラリーチャンピオンシリーズおよびチャレンジシリーズで使用できるタイヤは市販タイヤに限る。但し特別規則書により、使用できるタイヤ及び本数を制限できる。
6. ホイールは下記の最大直径および最大幅を超えないこと。
 DE-1 最大直径18インチ 最大幅8.0インチ
 DE-2 最大直径18インチ 最大幅7.5インチ
 DE-5 最大直径18インチ 最大幅7.0インチ
 DE-6 最大直径18インチ 最大幅8.0インチ
※三菱ランサーおよびスバルインプレッサ、WRXはホイールサイズが少ない事を考慮し最大直径18インチ 最大幅8.5インチまでとする。
7. 各クラスで使用されるタイヤは、以下に記載の最大幅（タイヤに刻印されたサイズ）を超えていないこと。
 DE-1 最大幅235ミリ、直径650mm以下（タイヤに刻印されたサイズ）
 DE-2 最大幅225ミリ
 DE-5 最大幅215ミリ
 DE-6 最大幅235ミリ
※三菱ランサーおよびスバルインプレッサ、WRXはホイールサイズが少ない事を考慮し最大幅（245）ミリ（タイヤに刻印されたサイズ）までとする。
8. 1本または複数のスペアタイヤを搭載しなければならない（但し、当初の車両にスペアタイヤが搭載されていない場合はこの限りではない）。
9. エアクリーナーケースを変更することは出来ない。但し、フィルターエレメントの材質は自由とする。
10. 過給器付車両へのエアリストリクター装着は任意とする。ただし、装着する場合、そのサイズは最大内径33mm（外径39mm未満）とするが、RRN車両の リストリクターは公認サイズでなければならない。過給機ハウジング内径が市販状態で32mm以下である場合はリストリクターの装着は不要とする。DE-1クラスについては、エアリストリクターを装着しない場合は、ECUの変更・改造は一切認められない。

第17条 クラス区分

1. J M R C中部ラリーチャンピオンシリーズ
- 1) DE-1 クラス
 ・気筒容積が2500ccを超える4輪駆動のRJ、またはRF車両。
 ・4輪駆動のRRN車両。
- 2) DE-2クラス
 ・気筒容積が1500ccを超え2500cc以下のRJ、RPNまたはRF車両。
 ・気筒容積が2500ccを超える2輪駆動のRJ、RPNまたはRF車両。
 なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。
 ・2輪駆動のRRN車両。
- 3) DE-5クラス
 ・気筒容積が1500cc以下のRJ、RPNまたはRF車両。
 なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。
- 4) DE-6クラス
 ・気筒容積が1500cc以下のRPNまたはRF車両（ATに限定）。
 なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。

・気筒容積が2500cc以下のAE車両。

2. JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ

気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（RRN・RJ・RPN・RF・AE・RB）によるクラス区分は行わない。

なお、オーガナイザーの判断により、独自の賞典を設けることは制限しない。

第18条 参加資格

1. JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ

- 1) 競技参加者は当該年有効なJAF競技参加者許可証を所持していなければならない。但し、クルーが競技参加者を兼ねる場合、この限りではない。
- 2) クルーは当該年有効なJAF国内競技運転者許可証B以上を所持していること。
- 3) クルーは参加車両を運転するのに有効な運転免許証を所持していなければならない。

2. JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 上記1. 1)～3)に、下記を追記する。

ドライバーはドライバーとして、過去5年以内のJMRC各地域のラリーシリーズまたはJAF全日本・地方ラリー選手権においてシリーズ3位以内となった経験が無い者であること。

3. 参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。

第19条 参加受理

1. 正式参加受理は、参加申込締切後5日以内に各参加者宛に通知する。（ファクシミリまたはeメール等のオーガナイザーが定めた電子的通信手段によって行うことができる。）
2. オーガナイザーは、理由を示すことなく参加拒否する権限がある。ただし、国内競技規則第4条-19に順ずる。
3. 参加不受理の場合は、事務諸経費2000円を差し引いて参加料を返還する。また、正式参加受理後、参加料および提出書類は一切返還されない。
4. 正式参加受理後のクルーの変更は認められない。但し、コ・ドライバー及び参加車両については、参加者から理由を付した文章が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。
5. 参加車両の変更は、同一クラス内に限り競技会3日前までに競技会審査委員会が認めた場合変更できる。
6. 正式参加受理後の全ての変更は、参加者が理由を付した正式文書に変更手数料2000円を添えてオーガナイザーに届けるものとし、競技会審査委員会の承認を必要とする。

第20条 参加台数

参加台数は、原則として全クラスを通じ最大75台とする。申込台数が75台を超えた場合は競技会組織委員会の選考により決定する。

第4章 競技に関する基準規則

第21条 競技会受付（参加確認）

競技会受付では、競技参加者許可証、クルーの運転免許証、競技運転者許可証、健康管理カード参加車両の自動車検査証（自動車検査証記録事項および付帯書類等）、自動車損害賠償責任保険証、ラリー競技に有効な自動車保険証等原本（加入と補償内容等が明確に確認できるもの）その他主催者が提出を求める必要書類等を速やかに提出すること。

第22条 車両検査

技術委員により参加車両の検査、サービス作業の管理およびマーキング・封印を行う場合がある。

車両検査の可否の最終的な判定は技術委員長判断となる。

1. クルーは車両の主要諸元を証明するための当該自動車製造者発行のカタログ、パンフレット等

(新型車解説書、整備解説書等を含む)を、常に携帯すること。また公認車両は前記書類の他に公認書および公認付属書も携帯すること。

2. 車両検査はタイムスケジュールに従って指定の場所で受けなければならない。車両検査を受けていない場合(競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く)および車両検査不合格の場合(競技会審査委員会は規則に合致させるための限られた修復時間を与える場合がある)はそれ以降の出走はできない。
3. クルーの装備品 当該年国内競技車両規則第5編細則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。
また、スペシャルステージの運転操作時はグローブも着用すること。
頸部及び頭部の保護装置(FHRシステム)の装着を強く推奨する。
4. 競技参加者が車載カメラ等を装着する場合、その装置は以下の要件を満たさなければならない。
 - ・車体の表面からはみ出してはならない。
 - ・コックピット内では、ダッシュボードの最後端点を通る垂直横断平面とドライバー/コ・ドライバー(ナビゲーター)座席の最後端点を通る垂直横断平面の間にカメラを設置することは(その取付け部位を含めて)禁止される。
 - ・取り付けは、ネジ止め、金属ネジ止め、ネジ止めクランプ、金属インサートのみでおこなわなければならない。(禁止：接着剤、両面テープ、粘着剤、吸盤など)
 - ・取り付けはロールバーに堅牢に固定し、ロールバーからの突出量は最低限に抑えること。
 ロールバーに対する加工、改造は認められない。
 - ・競技会公式車両検査の前に設置しなければならない。
 - ・クルーの視界、緊急時の出入り、脱出の妨げになってはならない。
 - ・スマートフォン、タブレットなどの設置も同様の要件を満たさなければならない。(トラッキング機材は除く)
5. 最終タイムコントロール通過後、指示された車両に対し最終車両検査を行う。また、競技会審査委員会または競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要とされる場合、分解を伴う検査を行う。最終車両検査の対象になった競技参加者はその指示に従うこと。その際の分解、組付けに必要な工具・部品・費用は全て競技参加者の負担とする。
6. J M R C 中部ラリーシリーズで重量測定の確認を行う場合は、J A F 国内競技車両規定第2編ラリー車両規定第9条で定められた各数値とする。

第23条 コントロール

1. オフィシャルの用意する時計によって計時される。
2. 指定するコントロールについては特別規則書または公式通知に明記することによりタイムペナルティを与えることなく目標時刻より前にチェックインさせることができる。
3. コントロールは、ラリー競技開催規定細則、スペシャルステージラリー開催規定第24、第25、第26条に従って行われる。

第24条 スペシャルステージ

1. スペシャルステージの計測は1/10秒まで計測する。
2. スペシャルステージは、ラリー競技開催規定細則、スペシャルステージラリー開催規定第28条に従って行われる。

第25条 順位決定

競技結果はスペシャルステージで記録された所要時間と、ロードセクションその他で課せられたペナルティを合計して決定される。
合計タイムが同じ場合は下記の順により順位を決定する。

1. 最初のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。
2. 次のスペシャルステージ区間の所用時間が少ない者。
3. 競技会審査委員会が最終決定する。

第5章 抗議

第26条 抗議

1. 参加者は自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第12条に従い抗議する権利を有する。
 - 1) 抗議を行う場合は、必ず文書にて理由を明記し、21,200円（準国、地方競技）、53,300円（国内競技）を添えて競技長に提出すること。
 - 2) 抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。
 - 3) 抗議により車両の分解検査に要した費用はその抗議が正当と裁定されなかった場合は抗議提出者が、正当と裁定された場合は抗議対象者が負担する。
その際に要した分解整備等の費用は競技会技術委員長が算出する。
 - 4) 審判員の判定、計時装置、安全上の判断に伴うタイヤの追加に関する競技長宣言に対して抗議することはできない。
 - 5) 競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。
2. 抗議の時間
 - 1) 競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。
 - 2) 成績に関する抗議は、暫定結果発表後30分以内に提出しなければならない。

第6章 競技会の延期、中止、または短縮

第27条 競技会の延期、中止、または短縮

1. 競技会審査委員会は保安上もしくは不可抗力などにより競技の運営に支障がある場合競技会の延期、中止、短縮および内容の変更を決定することができる。
2. 延期されたために競技会への参加が不可能となった場合、オーガナイザーの指示する期間内に返還要求を行うことにより参加料は返還される。
3. 中止になった場合、参加料は返還される。
4. 競技の進行が全ての参加車両に対して、不可能または著しい障害になった場合、または他に及ぼす影響等で競技の続行ができなくなった場合、競技会審査委員会の承認のもと競技長の判断により、打ち切りおよび特定区間の中断を行う。
5. 競技が打ち切りになった場合の成績は、競技打ち切り時点までにおけるものとし競技は成立する。また、打ち切りおよび特定区間の中断により、クラスごとに採点される区間が異なる場合がある。

第7章 損害の補償

第28条 損害の補償

1. 競技参加者、クルーは参加車両およびその付属品が破損した場合および第三者に損害を与えた場合、その修復等に対する責任を自己が負わなければならない。
2. 競技参加者、クルーはJAF、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁が一切の損害事故の責任を免除されていることを了承しなければならない。
すなわち競技役員がその役務遂行に最善を尽くすことはもちろんであるが、競技参加者、クルー、サービス員の負傷、死亡その他車両の損害賠償に対してJAF、オーガナイザー、大会役員、オフィシャル、道路管理者、警察および関係省庁は一切補償責任を負わない。
3. 競技参加者、クルー、サービス員が競技中に起こしたオーガナイザーおよび役員車またその設備や

道路関係施設、会場施設・備品、樹木等の事故はいかなる場合も競技参加者が責任をもって賠償するものとする。

第8章 規則の解釈および施行

第29条 本共通規則の解釈

本共通規則、競技会特別規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。

第30条 罰則

1. ラリー競技開催規定細則「スペシャルステージラリー開催規定」第31条に従う。
2. 規則違反、または競技役員の指示に対する不遵守は、国内競技規定に記載されている条項に従って罰則が適応される。
3. 本規則に関する罰則及び本規則に定められていない罰則の選択については、競技会審査委員会が決定する。
4. レッキ中の自己・違反・暴走行為に対し競技会審査委員会の裁定により、失格を上限とする罰則が適用される。

第31条 本共通規則の施行ならびに記載されていない事項

1. 本共通規則の適用は本シリーズ競技会に適用されるもので参加確認と同時に有効となる。
2. 本共通規則に記載されていない競技に関する事項は、J A F 国内競技規則、ラリー競技開催規定、およびその細則に従う。
3. 公式通知はその示す範囲において、すでに示された事項に優先する。
4. 各規則書発行後、J A F によって決定された事項は、すべての規則に優先する。

J A F 中部地域クラブ協議会 ラリー専門部会

2026年JMRC中部ラリーシリーズ戦規定**第1条 目的**

JAF中部地域クラブ協議会のラリーシリーズとして参加者及びオーガナイザークラブ間の親睦および初級者・若年者の育成を図り、ラリー競技およびJMRC中部の発展を目的とする。

第2条 シリーズ戦

1. 下記のシリーズを設ける。
 - 1) JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ
 - 2) JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ
2. 上記の2つのシリーズは同一競技会において併催することができる。但し併催の場合、参加者は2つのシリーズに重複して参加することはできない。

第3条 部門

下記の部門を設ける。

1. 各クラス・ドライバー部門
2. 各クラス・コ・ドライバー部門

第4条 クラス区分

1. JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ
 - ① DE-1クラス ・気筒容積が2500ccを超える4輪駆動のRJ、またはRF車両。
・4輪駆動のRRN車両。
 - ② DE-2クラス ・気筒容積が1500ccを超え2500cc以下のRJ、RPNまたはRF車両。
・気筒容積が2500ccを超える2輪駆動のRJ、RPNまたはRF車両。
・2輪駆動のRRN車両。なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。
 - ③ DE-5クラス ・気筒容積が1500cc以下のRJ、RPN、RF車両。
なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。
 - ④ DE-6クラス ・気筒容積が1500cc以下のRPN、RF車両（ATに限定）。
・気筒容積が2500cc以下のAE車両。
なお、RPN車両については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。
2. JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ
気筒容積、駆動方式および異なる車両区分（RRN・RJ・RPN・RF・AE・RB）によるクラス区分は行わない。なお、オーガナイザーの判断により、独自の賞典を設けることは制限しない。

第5条 ポイント

1. チャンピオンシリーズ戦については、各クラスのドライバーおよびコ・ドライバーに対しJAF地方ラリー選手権の順位に従って下表のポイントを与え、下記に示す有効ポイントの合計で順位を決定する。
チャレンジシリーズ戦については、下表のポイントをドライバーおよびコ・ドライバーに与え、下記に示す有効ポイントの合計で順位を決定する。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ポイント	20	15	12	10	8	6	4	3

2. 競技会において、各クラス出走台数が1台以上でクラス成立とする。
チャレンジクラスにおいては、出走台数が2台以下の場合には1位10ポイント、2位7ポイントとする。
3. ポイント対象者は各競技会参加時においてJMRC中部に加盟するクラブ・団体の所属員（クラブ員）であること。
出場時にJMRC中部に加盟するクラブ・団体への所属が確認できない者はポイント対象者とみなしてポイントを付与する。ホームページ公開のポイント集計表にはみなし対象者とわかるよう表記する。
みなし対象者とポイント集計については本条12項のとおり取り扱う。
4. 成立した競技会が7戦以上の場合には高得点順に6戦を、6戦以下の場合には全戦有効ポイントとする。5. 有効ポイントが同点の場合には、下記の方法で順位を決定する。
 - 1) 上位ポイントの獲得回数の多い順。
 - 2) 当該競技者が得た全てのポイントのうち、上位ポイントの獲得回数の多い順。
 - 3) シリーズの各クラスにおける参加台数の多い競技会のポイントを優先する。
 - 4) JMRC中部ラリー部会にて決定する。
6. 国内競技車両規則違反に起因する失格を決定された競技者（ドライバー、コ・ドライバー）は失格となった競技会を含み、以前のポイントを剥奪する。
7. 上記6. に該当する者がいた場合、各競技会のポイントの再集計は行わずシリーズ順位のみを繰上げる。
8. ポイントは各競技会の成績表を元に行う。
9. ドライバー、コ・ドライバー登録された者がスペシャルステージを入れ替わって走行したことが発覚した場合ポイントを与えない。
10. JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズにおいては、近畿地区において開催されるJAF中部・近畿ラリー選手権戦もポイント獲得対象競技会とする。
11. 各シリーズにおいて競技会3戦以上の成立でシリーズの成立とする。
なお、チャンピオンシリーズにおいては近畿地区において開催されるJAF中部・近畿ラリー選手権戦も含むものとする。
12. シリーズ最終戦終了後1週間程度でシリーズポイント集計結果を掲載する。
みなし対象者でシリーズ表彰を希望する者は、この掲載日以後1週間以内にJMRC中部ラリー専門部会にJMRC中部に加盟するクラブ・団体への所属、あるいは新設について申告すること。
申告の際にはライセンス裏面へのJMRC中部印の押印か、所属したクラブ代表からの書面による証明を添付する事。
この申告が期日以内になされなかった場合、みなし対象者はシリーズ表彰対象者から除かれる。
ポイントの再集計は行わず、シリーズ順位のみを繰上げる。

第6条 競技規則違反

1. 再車検を拒否した場合は、その競技会は失格とし、かつ当該シリーズのポイントは全て剥奪し以降当該年度の当該シリーズ戦競技会への参加を認めない。
2. オーガナイザーが事前走行と認めた車両に乗っていた者は、それまでの全てのシリーズポイントを剥奪し以降当該年度の全てのシリーズ戦への参加を認めない。

第7条 シリーズ表彰

各シリーズともに各クラス・各部門1位を表彰対象とする。但し、参加台数およびクラス成立した競技会回数により表彰対象枠の変更を行なう。表彰対象者には表彰式招待状をもって通知する。

第8条 シリーズ表彰式

「JMRC中部 Motor Sports Day 2026」にて開催される表彰式で行なう事を原則とする。

第9条 シリーズ入賞者の義務

入賞者は表彰式への出席を義務付ける。但しやむを得ず出席できない場合は、その理由と代理人をラリー専門部会に報告すること。

第10条 個人情報の取扱等について

オーガナイザーは、参加申込に際し取得した個人情報等については厳重に管理し、当該ラリー運営上および参加申込の際に情報の共有について承諾した別のラリーや競技会等への参加募集以外には使用しない。但し、収集した個人情報等は、開催許可申請の為、警察、地方自治体等の関係機関の要求に基づき必要最小限の範囲で開示される場合がある。また、競技結果等には、参加者氏名、所属クラブ、車両名等の情報が掲載され、個々の承諾を得る事無く、ホームページなどで競技参加者の人物や車両の写真と共に公開される事もある。さらにオーガナイザーは参加申込に際し取得した個人情報等を、シリーズ成績集計及び表彰案内等に際し J M R C 中部事務局に提出する。参加者は、上記を理解し、承諾した上で参加申込を行うものとする。

第11条 本シリーズ規定の解釈

本規定の解釈に疑義が生じた場合は、JMRC 中部運営委員会の決定を最終とする。

第12条 規定の施行

本規定は 2026 年 1 月 1 日より施行する。

本規定の改定、追加項目に関しては JMRC 中部ラリー専門部会ホームページにて公示する。

J A F 中部地域クラブ協議会 ラリー専門部会

J A F 中部地域クラブ協議会 会 則

第1条 名 称

本会は、J A F 中部地域クラブ協議会と称する。

略称として J M R C 中部 (J A F Motor sports Clubs Regional Conference) を使用する。

第2条 事務所

本会の事務所は運営委員長が指定する。

第3条 目 的

本会は、本会を構成するクラブ・団体によるモータースポーツ活動の振興と安全の高揚およびクラブ・団体の質的向上を図り、クラブ活動の円滑化の促進を行うと共に J A F との連絡調整を行うこと目的とする。

第4条 活 動

本会は、第3条の目的達成をするために次の活動を行う。

1. 競技振興に関する事
 - 1) 振興に必要な事業活動の企画、協議を行う。
 - 2) 各種規則・規定の運用を指導し、その遵守を徹底する。
 - 3) 各種規則・規定の運用に当たり、統一見解を設ける必要が生じた場合、その協議を行い必要事項について J A F との連絡調整を行う。
2. 安全に関する事項

競技の安全に関する研究、協議、研修、指導要項の作成および実施の徹底
3. 加盟するクラブ・団体間の情報交換ならびに連絡調整
 - 1) 本会に加盟するクラブ・団体へのモータースポーツに関する情報の提供および本会に加盟するクラブ・団体相互の情報交換
4. その他
 - 1) 全国他地域の J M R C との交流および情報交換
 - 2) J M R C 中部共済の運営管理
 - 3) 他、本会の目的を達成するために必要な活動

第5条 構 成

本会は、中部地域内（富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）に所在する会員をもって構成する。

1. 本会は、次の会員をもって構成する。
 - 1) 正会員
 - 2) 賛助会員
2. 会員の資格
 - 1) 正会員は J A F 登録クラブ・団体および J M R C 中部承認クラブ・団体とする。
J M R C 中部承認クラブ・団体は、モータースポーツ活動を目的とする5名以上、10名以下で構成されるクラブ・団体で、J A F 登録クラブ・団体への変更の意思を有し、J A F の競技許可証所持者が1名以上在籍していること。
 - 2) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、その発展を助成しようとする個人または団体で正会員の推薦により運営委員会において承認された者とする。

第6条 組織

本会は、次の機構をもって組織される。

1. クラブ・団体代表者会議
2. 運営委員会
3. 理事会
4. 専門部会
5. 専門委員会
6. 事務局

第7条 クラブ・団体代表者会議

1. 本会は、本会に加盟するクラブ・団体代表者会議（以下、代表者会議という）を年1回1月に開催する事を原則とする。
2. 代表者会議は次の事項を審議決定する。
 - 1) 会則ならびに本会の諸規定の制定、変更、廃止
 - 2) 活動計画および収支予算の承認
 - 3) 活動報告および決算報告の承認
 - 4) 当該年度の運営委員の承認
 - 5) 会費負担基準の決定および変更
3. 代表者会議は、構成クラブ・団体代表者の3分の2以上の出席により成立する。但し、委任状をもって出席と認める。
4. 代表者会議の議決権は正会員のクラブ・団体を1個とし、その議決権は出席過半数をもって決定する。但し、賛助会員は、議決権を有しない。
5. 運営委員長は、必要と認めた場合、運営委員会の承認を得て臨時クラブ・団体代表者会議を召集できるものとする。

第8条 運営委員会

運営委員会は、運営規定により選出された以下の運営委員で組織構成される。

1. 運営委員長 1名
2. 副運営委員長 2名
3. 専門部会長 専門部会数に依る
4. 委員会委員長 委員会数に依る
5. 事務局長 1名
6. 運営委員長が指名したJAFモータースポーツ専門部会員 若干名
7. 前年度運営委員の推薦で委員長が認めた者 若干名

第9条 理事会

理事会は、運営規定第7条により選出された15名以内の理事で組織構成される。

第10条 専門部会

1. 本会は次の専門部会を置く。
 - 1) JMRC 中部レース専門部会
 - 2) JMRC 中部ジムカーナ専門部会
 - 3) JMRC 中部ラリー専門部会
 - 4) JMRC 中部ダートトライアル専門部会
 - 5) JMRC 中部競技会審査委員グループ
 - ①スピード競技審査委員グループ
 - ②ラリー審査委員グループ
2. 各部会の定員は、部会長を含み15名以下の委員で構成される。

第11条 専門委員会

1. 本会は、次の委員会を置く。
 - 1) 総務広報委員会
 - 2) 事業企画委員会
 - 3) 共済管理委員会
 - 4) 振興事業委員会
2. 各委員長は上記職務遂行のため若干名の委員を指名し委員会を組織する。指名される委員が運営委員の場合は兼任を妨げない。但し、運営委員以外の委員を指名する場合、運営委員長の承認を必要とする。

第12条 会議

1. 本会は、下記の会議を開催して円滑な運営を図る。
 - 1) 代表者会議
 - 2) 運営委員会会議
 - 3) 理事会会議
 - 4) 合同委員会会議
 - 5) 合同専門部会会議

その他、運営委員長が必要と認める会議。

上記会議の必要な経費の支出は、これを認めるものとする。

第13条 会計

1. 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。
 - 1) クラブ・団体からの運営規定に定める入会金・会費
 - 2) 本会が行う事業の収益金
 - 3) 企業、団体からの補助金・賛助金等
 - 4) その他
2. その他、特別な活動をする場合は特別会計をもって行うものとする。
3. 本会の会計年度は、前年の12月1日より同年11月末日とする。

第14条 役員の職務

1. 運営委員長
 - 1) 運営委員長は、本会を代表し会務を執行する。
 - 2) 代表者会議の議長となり会議の運営にあたる。
 - 3) 地域内に所在するクラブ・団体の活動の推進について指導する。
 - 4) 本会の代表として、JAFおよび他地区JMRCとの交流・連絡・調整を図る。
2. 副運営委員長
 - 1) 運営委員長を補佐し、事故・その他の場合はその職務を代行する。
 - 2) 副運営委員長2名は、専門部会部門および委員会部門をそれぞれ担当し、担当部門の統括管理を行い本会の質的向上を図る。
3. 専門部会長

運営規定による。
4. 委員会委員長

運営規定による。
5. 事務局長

運営規定による。

第15条 特別委員会

本協議会において、単年度内における単一事業および処理しなければならない単一項目が発生した場合、運営委員長は運営委員会の決定により特別委員会を設置できるものとする。本委員

会の委員長は、運営委員長がこれにあたるものとする。

但し、選挙管理委員会およびクラブ代表者会議実行委員会は、毎年必要な時期にこれを設置する。

第16条 事業年度

本協議会の事業年度は毎年1月1日に始まり、同年12月31日をもって終了する。

第17条 解散

本会の継続に重大な支障が生じた場合、解散することが出来る。

解散時に会計の決算を行い、欠損金が生じた場合は、正会員で公平に負担する。

剰余金が生じた場合は、代表者会議において有益と認められた団体にこれを寄付する。

第18条 会則の変更

会則の変更については、本会に加盟するクラブ・団体代表者からの提案を運営委員会において審議し、理事会の承認のもとに代表者会議の決定を得て行う。

第19条 細則

本会則に定めるものの他、本会の事業の運営上必要な細則は、運営委員会の決定により別に定める。

第20条 付則

本会則は、昭和56年8月9日より施行する。

1988年	1月29日改定
1991年	2月 3日改定
1999年	1月16日改定
2000年	1月 9日改定
2002年	1月12日改定
2004年	1月10日改定
2015年	7月20日改定
2019年	1月12日改定
2022年	2月27日改定
2025年	2月 1日改定
2025年	4月 1日施行

J A F 中部地域クラブ協議会 運 営 規 定

第1条 目 的

本規定は J A F 中部地域クラブ協議会（以下、J M R C 中部という）の運営を円滑に行うことを目的とする。

第2条 運営委員会委員の選出

本会会則第8条の規定による運営委員会委員の選出は、次の事項による。

1. 次年度の運営委員の選出は、前年度の11月末日までに選出され、代表者会議の承認を得るものとする。
2. 運営委員の定員は最大25名とする。
 - 1) 第6条により選出された正副運営委員長
 - 2) 次年度運営委員長指名による専門部会長
 - 3) 次年度運営委員長指名による専門委員長
 - 4) 次年度運営委員長指名による事務局長
 - 5) 会則第8条の6. 7. による者

第3条 運営委員会の開催

1. 本会は運営委員会を原則として毎月開催し、その日程は代表者会議にて公表される。但し、運営委員長は必要に応じて、臨時運営委員会を召集することが出来る。
2. 運営委員会の召集は電子メール等にて運営委員に発信しなければならない。
3. 出席出来ない運営委員は、全権を委任した代理人を出席させることが出来る。この場合、代理人は委任された運営委員からの委任状を運営委員長に提出することによって代理人と認められるものとする。
4. 運営委員会にオブザーバーの出席を認める。但し、事前に運営委員長の承認を必要とする。

第4条 運営委員会の協議事項

運営委員会は次の事項についての協議・処理を行う。

1. J A F から負託された事項
2. J A F に提案すべき事項
3. 運営委員および各部会・委員会からの審議依頼事項
4. その他、必要と認められる事項

第5条 運営委員会の議決

1. 運営委員会の議決は、議決権を有する出席委員の過半数によって決する。正・副運営委員長は、議決権を有しない。
2. 可否同数の場合は、正・副運営委員長によってこれを決する。

第6条 正・副運営委員長の選出

1. 正・副運営委員長の任期は1期3年とする。
2. 運営委員長の任期の完了する年度の11月末日までに開催する運営委員会において選挙管理委員会を設置し、選挙により正・副運営委員長を選出する。
3. 選挙管理委員会は理事会より3名の委員を選出しこれにあたる。選挙管理委員会は会員に対して公示を行い、立候補または3会員以上の推薦者を有し本人の就任の確認が取れている被選挙人に対し運営委員会にて選挙を行う。

第7条 理事会

1. 理事長は理事会での互選とし、任期を3年とする。但し、その再選を妨げない。
2. 理事会は、下記をもって構成する。
 - 1) 理事長
 - 2) 副理事長
 - 3) 正副運営委員長
 - 4) 運営委員会事務局長
 - 5) 運営委員会および理事会1名以上の推薦の運営委員経験者および学識経験者で理事会の承認を得た者
3. 職務
 - 1) 原則として年間1回以上の会議を開催する。
 - 2) 理事長又は、副理事長は運営委員会に出席する。
 - 3) 理事会はJMR C中部の発展に寄与する提言を運営委員会に対して行う。
 - 4) 運営委員会の答申事項に対して協議し行い助言を行う。
 - 5) 選挙管理委員会を組織し、正副運営委員長の選出を行う。
 - 6) 運営委員会で採択された会則変更の承認を行う。
 - 7) 運営委員会より負託された賞罰に対しての裁定を行う。
 - 8) JMR C中部から要請の有った競技会および事業への協力を行う。
 - 9) JMR C中部の会計監査を行う。
4. 付則
 - 1) 理事長は理事の中から副理事長、また事務担当として事務局員を指名することができる。
 - 2) 理事の追加は年度途中での指名を運営委員会の承諾を得て行える。
 - 3) 理事会開催にあたり、審議事項により、運営委員より関連委員を参加させることが出来る。

第8条 専門委員会委員長の職務

原則として以下の担当委員会を組織し、運営委員会の承認のうえ委員会活動を行う。ただし事業計画によって委員会を統廃合することができる。

1. 総務広報委員会
 - 1) 予算案の作成
 - 2) 資産の保全、管理
 - 3) 会則、諸規定に関する事項
 - 4) 本会の対外的な交流・交歓および全国組織との連絡調整
 - 5) その他、運営委員会負託事項
 - 6) ホームページを含む社会に対する広報活動の管理運営
2. 事業企画委員会
 - 1) 本会の目的達成の為の活動を行うに必要な企画・事業の発案、研究、実施
 - 2) その他、運営委員会負託事項
3. 共済管理委員
 - 1) JMR C中部共済規定に基づき、共済の運営を管理する。
 - 2) 運用については運営委員会の決定によりこれを行う。

第9条 専門部会長の職務

1. 担当部会の運営を円滑に行うため必要に応じて部会を召集し、その議長となる。
2. 運営委員会に出席し担当部門の諸問題を運営委員会に提議し、審議・協議を行う。

第10条 専門部会委員の選出

1. 担当部会長の指名により選出し、運営委員会の承認を得るものとする。
2. 原則として委員は各シリーズから主催者、選手代表者を各1名ずつ、事務局1名とする。
副委員長は選出された委員の中より1名を選出する。

第11条 専門部会の活動

専門部会の活動は次の通り行う。

1. 運営委員会から指示された事項の協議およびその報告
2. 協議会の活動促進および担当部門の情報交換
3. 本会を通じ、JAFモータースポーツ専門部会への意見ならびに提案事項についての協議
4. 審査委員グループは、各専門部会の協力のもとに審査委員を派遣し、競技の公正と質的向上を図るものとする。
5. その他、担当部門についての研究・活動の実施

第12条 JAFモータースポーツ専門部会委員の当協議会専門部会への出席義務

1. 本会所属のJAFモータースポーツ専門部会委員は、運営委員長の指名する当協議会専門部会への出席をするものとする。
2. JAFモータースポーツ専門部会委員は、当協議会専門部会とJAFとの情報交換を図る。

第13条 専門部会の議決

専門部会および委員会の議決は出席委員の過半数をもって決する。

但し、可否同数の場合は部会長および委員長がこれを決する。

第14条 事務局長の職務

1. 本会の目的達成の為の活動と会務の円滑な処理を行う。
 - 1) 会費の徴収および予算の執行
 - 2) 会計管理
 - 3) 会員管理
 - 4) 書類、資料等の管理保管
 - 5) 対外活動および連絡調整
2. 事務局長は事務局員を若干名指名し事務局を構成できる。

第15条 会計監査

監査は理事会がこれを行う。

第16条 入会金・会費

本会の入会金・会費は下記の通りとし、2年ごとに総務・広報委員会において見直し、運営委員会に答申するものとする。

1. 正会員

入会金		8,000円
会費	JAF登録加盟団体	85,000円
	JAF登録公認クラブ	85,000円
	JAF登録加盟クラブ	40,000円
	JAF登録準加盟クラブ	20,000円
	JMRC中部承認クラブ	15,000円

2. 賛助会員

会 費 30,000円

但し、年度内の昇格は差額を徴収しない。

第17条 入退会

1. 入会手続き

- 1) 加盟申請書、入会金、会費を添えて申請を行うものとする。
- 2) 事務局は書類審査のうえ、1週間以内に入会の是非を通知するものとする。
- 3) 申請内容に疑義がある場合は、運営委員会にて承認を受けるものとする。
- 4) 年度途中の入会については、入会金および会費を全額徴収する。
- 5) 3月末日までに更新を行わなかったクラブは新規扱いとする。

2. 更新手続き

- 1) 年度更新手続き期間は、12月1日から3月31日までとする。
- 2) 入会は歴年ごとに更新し、毎年1月1日から12月31日までを有効とし、更新の手続きは3月末日までに行うものとする。
- 3) 昇格、降格とも年度をまたいで更新する場合は、新規扱いとしない。

3. 退会手続き

- 1) 3月末日までに更新の手続きが無かった場合、3月31日付けで自動的に退会となる。
- 2) 運営委員会が退会を必要と認めたクラブについては退会とする。

4. 付 則

- 1) 新規入会の場合、入会を認められた場合に仮登録印を交付し、正登録印が交付されるまでこれを使用する。
正登録印が交付された場合、仮登録印は直ちに返却されねばならない。
- 2) 更新の場合は、更新確認の終了後に正登録印を交付する。

第18条 付 則

本規定は、昭和56年8月9日より適用する。

1988年	1月29日改定
1991年	2月 3日改定
1996年	1月14日改定
1999年	1月16日改定
2000年	1月 9日改定
2002年	1月12日改定
2004年	1月10日改定
2005年	1月 8日改定
2006年	1月13日改定
2007年	9月16日改定
2011年	11月 8日改定
2015年	7月20日改定
2019年	1月12日改定
2025年	2月 1日改定
2025年	4月 1日施行

競技会救急安全委員規定

JAF中部地域クラブ協議会（以下「JMRC中部」という。）は、競技会の安全運営の徹底と安全意識の高揚を図るため、本規定を制定する。

第1条 目的

本規定の目的は、JMRC中部における各シリーズ戦の救急体制の充実を図り、競技会の安全性の向上に資することであり、不測の事態が発生したとき、可能な範囲で適切な応急手当を施すことができる体制を作ることにある。

第2条 適用範囲

本規定の適用を受ける競技会は、JMRC中部認定のシリーズ戦とする。

第3条 認定救急安全委員

本規定に定める認定救急安全委員とは、JMRC中部運営委員会が認めた救急安全に関する講習会を受講した者で、JMRC中部運営委員会が発給した有効な救急安全委員認定証を所持している者をいう。

第4条 認定講習会

前条のJMRC中部運営委員会が認めた救急安全に関する講習会とは、運転者等の応急手当及び救急救命を内容とした講習会で、次の各号に示す講習会とする。

- 1) JMRC中部運営委員会の各部会、委員会及び支部が主催するレスキュー講習会
- 2) (社)日本自動車連盟が主催する講習会
- 3) 日本赤十字社が主催する講習会
- 4) 市区町村の消防本部及び消防署が主催する講習会
- 5) その他、JMRC中部運営委員会が認めたもの。

第5条 救急安全委員認定証

- 1) 認定講習会を受講した者は、必要書類を添えて、JMRC中部運営委員会に救急安全委員認定証の発給を申請する。ただし、前条第1項第1号の講習会にあつては、講習会を主催した、各部会、委員会及び支部の代表者がまとめて申請することができる。
- 2) JMRC中部運営委員会は、前項の申請を受けたときは、速やかに申請書を審査し、救急安全委員認定証を発給する。
- 3) 第1項に定める、申請に必要な書類とは、申請書と認定講習会主催者が発行した、受講終了証等の受講を証明できるものをいう。
- 4) JMRC中部運営委員会は、認定講習会の主催者、若しくは講習会の講師が所属する団体等が発行した受講終了証等をもって、救急安全委員認定証に代えることが出来る。
- 5) JMRC中部運営委員会は、前項の規定により受講終了証等を救急安全委員認定証と認めた場合は、その旨を公表するものとする。

第6条 有効期間

救急安全委員認定証の有効期間は次のとおりとする。

- 1) 第4条第1項第1号の講習会を受講した者の救急安全委員認定証の有効期間は、受講した日から2年間とする。
- 2) 第4条第1項第2号から第5号までの講習会を受講した者の救急安全委員認定証の有効期間は、受講した日から1年間とする。

第7条 JMRC中部運営委員会の責務

JMRC中部運営委員会は、救急安全に関する講習会を、年に1回以上開催しなければならない。

第8条 オーガナイザーの責務

オーガナイザーは、主催する競技会に認定救急安全委員を選任しなければならない。

第9条 氏名の公表

- 1) JMRC中部運営委員会は、救急安全委員認定証を発給した者の氏名を公表する。
- 2) オーガナイザーは、競技会の公式プログラム、特別規則書、若しくは、公式通知によって、当該競技会の認定救急安全委員の氏名を公表しなければならない。

第10条 競技会審査委員会による確認

競技会審査委員会は、当該競技会に選任されている認定救急安全委員が有効な救急安全委員認定証を所持していることを確認しなければならない。

第11条 医師等の特例措置

- 1) 医師、看護師、救急救命士の有資格者は、認定救急安全委員とする。
- 2) 前項の認定救急安全委員には、救急安全委員認定証の所持を免除する。

第12条 救急安全委員認定証の再発行

- 1) 救急安全委員認定証を紛失した者は、JMRC中部運営委員会に救急安全委員認定証の再発行を申請することができる。
- 2) 前項の規定により救急安全委員認定証の再発行の申請があった場合、JMRC中部運営委員会は、残りの有効期間について救急安全委員認定証を再発行する。

第13条 罰則

JMRC中部運営委員会は競技会に認定救急安全委員を選任しなかったオーガナイザーを公表する。

第14条 本規定の施行

本規定は、2005年1月8日から施行する。

2005年 1月8日 施行
2025年 2月1日 改訂

J A F 中部地域クラブ協議会共済規定

1986年 9月23日制定
 1986年11月 1日適用
 1987年 1月 1日施行
 1999年 1月16日改定
 2000年 1月 9日改定
 2007年 9月16日改定
 2008年 1月 1日施行
 2015年 7月20日改定
 2016年 1月 1日施行
 2017年 1月14日改定

J A F 中部地域クラブ協議会（以下、J M R C 中部という）は、本会に加盟するクラブ・団体の所属員の福利厚生のために、J M R C 中部共済（以下、共済という）を設け、本規定をもって運用する。

第1章 総 則

第1条 目 的

本共済の目的は次のとおりとする。

1. 被共済者の人身事故に対する救済。
2. 被共済者の社会的権利と地位に関する救済。

第2条 対象競技

本共済の対象競技はつぎのとおりとする。

1. J A F によって公認され、かつ国内で開催されたもの。
2. その他 J M R C 中部運営委員会が認めたもの。

第3条 被共済者

被共済者は、J M R C 中部に加盟するクラブ・団体の所属員として登録された、J A F より発給された自動車競技に関わる当該年度の許可証所持者とする。

但し、J A F 発給の競技許可証未証所持者は、四輪自動車運転許可証の所持者とする。この場合、給付対象となる競技会は第2条に示すものに限る。

第4条 運用と適用

本制度の運用と本規定の適用については次に従う。

1. 本制度の運用はJ M R C 中部運営委員会（以下、運営委員会という）が行う。
2. 本制度による給付は申請に基づき運営委員会が行う。
3. 本制度の運用と管理は運営委員会が行う。

第5条 適用資格の有効期間

有効期間は第3条の対象者としての要件を満たしている期間とする。

第2章 財 務

第6条 財 源

本制度の財源は、当該年度11月30日をもってJMR C中部が保有する共済基金およびその利息とする。

第7条 拠出金

拠出金の徴収は行わない。

第8条 給付の制限

1. 付金額が共済会基金を上回った場合（共同共済引き当て分を除く）は給付できないことを予め承知しなければならない。

第9条 使途

基金の使途は第1条に示す目的を遂行する為のものとする。

第3章 給 付

第10条 人身事故への給付

第1条の第1項に関する給付の最高限度額ならびに対象競技会は、別に定めるJMR C中部共済給付細則（以下、給付細則という）に定める。

第11条 地位保全への給付

第1条の第2項に関する給付の最高限度額ならびに対象競技会は給付細則に定める。

第12条 給付の対象

共済の給付を受ける者は次のとおりとする。

1. 第10条による場合は次のとおりとする。
 - 1) 死亡の場合：あらかじめ本人が定めた受取人または法定相続人。
 - 2) 死亡以外の場合：本人
2. 第11条による場合：本人

第13条 給付請求の方法

第9条・第10条による給付を受けようとする者は、事故発生後14日以内に事故の内容を報告し、かつ、3ヶ月以内に給付の請求を行わなければならない。
給付請求に関するその他の事項は給付細則に定める。

第4章 改 定

第14条 本規定の改定

本規定の改定は、JMR C中部クラブ・団体代表者会議において過半数の賛成を必要とする。

第5章 施 行

第15条 本規定の施行

本規定は2017年度に関して発給される許可証より適用し、2017年1月15日をもって施行する。

JMRC中部共済 運営要項

1986年	9月23日	制定
1986年	11月1日	適用
1987年	1月1日	施行
1995年	12月9日	改定
1998年	12月6日	改定
1999年	11月7日	改定
2000年	2月1日	改定
2007年	9月16日	改定
2008年	1月1日	施行
2022年	1月29日	改定

JAF中部地域クラブ協議会共済規定（以下、規定という）に基づき以下の要綱を定め運営する。

第1条 共済の対象者(被共済者)

対象者は共済規定第3条に定める者とし、次の条件を満たした者とする。

1. 加入者所属するクラブ・団体が当該年度、JMRC中部に加盟していること。
2. JMRC中部に加盟するクラブ・団体に30日以上在籍する所属員であり、当該クラブ・団体によってJMRC中部に登録申請された者とする。
3. その他運営委員会により、通年あるいはイベント単位で補償を認められたイベントに参加する者。

第2条 適用資格の有効期間

共済規定第5条に準ずる。所属するクラブ・団体がJMRC中部への加盟（新規・更新）手続きを完了し、所属員の登録申請を行った日付より当該年度の12月31日までを有効期間とする。但し、前年度加盟登録のクラブ・団体が次年度の更新手続きを完了するまでの間は、3月31日までを猶予有効期間とする。

第3条 運営要項の改定

本要項の改定は、JMRC中部運営委員会の過半数の賛成を必要とする。

第4条 補則規定

基金の保全を計り、管理の明確化を目的として、下記の規定を定める。

1. 基金の保全
 - 1) 基金の保全は、銀行口座の預け入れによりこれを行う。
2. 基金の管理
 - 1) 管理委員会は、帳簿を作成し入出金を管理する。
 - 2) 出金は、運営委員会の要請に基づき出金申請書を作成し、運営委員長の許可の元に事務局がこれを行う。
 - 3) 管理委員会は、収支報告を行う。
3. 基金保全に関する印鑑、証書類の管理
 - 1) 印鑑は運営委員長がこれを管理する。
 - 2) 証書類は管理委員長がこれを管理する。
 - 3) 出納関係書類は事務局長がこれを管理する。
4. 会計処理
 - 1) 共済の会計年度は、12月1日より翌年の11月30日までの1年間とする。
 - 2) 管理委員会は、12月開催の運営委員会に決算報告を行う。
決算報告には帳簿、関係書類、保全口座の残高証明の添付を必要とする。

JMRC中部共済 給付細則

1986年	9月23日	制定
1986年	11月1日	適用
1987年	1月1日	施行
1995年	12月9日	改定
1996年	11月4日	改定
1998年	12月6日	改定
1999年	11月7日	改定
2007年	9月16日	改定
2008年	1月1日	施行
2022年	1月29日	改定
2024年	12月3日	改定
2025年	4月1日	施行

JAF中地域クラブ協議会共済規定（以下、規定という）に基づき、以下の細則を定め給付を行う。

第1条 人身事故への給付

規定10条に定める人身事故への給付は、次のとおりとする。

1. 一事故、同一人に対する給付最高限度額は500万円とする。
2. 給付の区分は、500万円を上限として別表の給付区分表に定める。

第2条 規定第11条に定める地位保全への給付は次のとおりとする。

1. 給付は、その都度、運営委員会によりその額を決定する。
2. 対象競技会はJAFに公認され、かつ国内で開催されたものとする。

第3条 給付請求の方法

給付の請求は、別に定める書式によって、当該主催クラブまたは本人よりJMRC中部事務局に提出して行う。尚、申請書類は次のものを用意しなければならない。

1. 申請書：記載項目を全て記入した所定の申請書。
2. 添付書類：ライセンス又は運転免許証の写し、診断書（給付予想額が10万円以上の場合）またはその写し。給付予想額が10万円以下の場合、入院した期間や医療機関名が客観的に分かる資料（入院給付の場合）、通院した日にちや医療機関名が客観的に分かる資料（通院給付の場合）を添付する。
3. その他：審査の段階でJMRC中部運営委員会が必要としたもの。

第4条 損害の確認及び査定

1. JMRC中部運営委員会は、損害の確認について主催クラブ及び該当事案の関係者に事故原因及び損害の確認をすることがある。
2. JMRC中部運営委員会は給付金額の査定について保険会社及び弁護士等の助言を求めることがある。最終的な査定は運営委員会でおこなうものとする。

第5条 再査定請求

被共済者（受給者）は、給付金額について異議等がある場合、再査定の申請をすることができる。その際はJMRC中部共済給付申請書の申請理由欄に異議申し立ての内容を記してJMRC中部へ再提出すること。JMRC中部運営委員会は直近の運営委員会で再査定し、査定額を算出する。被共済者（受給者）は、再査定された金額について異議を申し立てることはできない。

第6条 共済金支払先

共済金の振り込みは原則として共済金請求書の被共済者名（けがをされた方）とし、その他の者が受け取ることを希望する場合、JMRC中部運営委員会で協議し決定する。

第7条 個人情報の取り扱い

JMRC中部運営委員会は共済金査定において被共済者及び受給者から知り得たセンシティブ情報を含む個人情報を関係機関と共有することがある。ただし、それ以外の目的で個人情報を利用することを禁止する。被共済者及び受給者は申請書記入に際し、上記事項に同意したものとする。

第8条 改定

本細則の改定は、JMRC中部運営委員会の過半数の賛成を必要とする。

以上

社会的権利保全のための給付細則

2022年 1月29日制定
2022年 2月 1日施行
2024年12月 3日制定
2025年 4月 1日施行

第1条 給付の定義

規定第3条に示す被共済者および JMRC 中部運営委員会が規定第2条に示す対象競技を参加・運営(JMRC 中部の年間運営を含む)するに起因して生じる次の事項について、被共済者および JMRC 中部運営委員会の人権及び社会的権利保全のために共済金を給付する。

第2条 支払いの制限

共済金を支払わない場合

- ① 被共済者の故意
- ② 被共済者と同居する親族に対する事案
- ③ その他 JMRC 運営委員会で支払わないと決めたもの

第3条 支払いの範囲

- ① 第1条に示す事項を履行中に起因した対人対物の賠償事案を対象とし、被害者が具体的に遺失した事項が 明らかな場合に給付する。
- ② 被共済者が被害者に対して行う賠償義務の弁済としての支出を給付する。ただし被共済者が弁済によって 代位取得するものがある場合はその価格を控除する。
- ③ その他 JMRC 中部運営委員会が特に認める事案。

第4条 給付金の制限

- ① 一事故・一事案に対し 500 万円を限度とする。
- ② 自動車保険等で被害者の遺失に対する賠償義務が履行されている場合、本共済からの給付は行わない。
- ③ 該当年度に複数の支払い事項があり、共済基金が給付認定額を下回る場合は、該当年度の共済基金の準備額を支払いの限度額とする。

第5条 給付に関する諸条件

- ① 給付の内容については、JMRC 運営委員会にて協議し、委員の過半数の賛同を必要とする。
- ② 給付内容について異議申し立てがある場合、被共済者は JMRC 中部運営委員会に対して書面をもって 異議を申し立てることができる。JMRC 中部運営委員会は書面を受け取った直近またはその次の委員会で再議決をする。再議決以降の申し立てについて、JMRC 中部運営委員会はこれを受理しない。

第6条 請求権の消滅

該当事案が起きた日から起算して3年を経過したものは請求権を失う。

第7条 共済金請求

給付の請求は書面をもって行う。

- ① 共済金請求書
- ② 本請求に該当することを示す書類
(競技会への参加を証明するもの、事故・事案の起こった事実を客観的に証明できるもの)
- ③ 事案の原因・状況及び損害の程度・金額を示すもの
(現場・被害物の写真、修理見積・被害者の診断書等)

別表 給付区分表

給付の定義

死亡給付金	事故の日からその日を含めて180日以内に死亡した場合、死亡・後遺障害金額の全額を支払う（ただし、1事故について、既に支払われた後遺障害給付金がある場合は、死亡・後遺障害給付金から既に支払われた金額を差し引いて支払う）。
後遺障害給付金	事故の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合に、後遺障害の程度に応じて給付金を支払う（ただし、給付金額は1事故について死亡・後遺障害給付金を限度とする）。
入院給付金	医師等の治療を必要とし、事故の日からその日を含めて180日以内に入院した場合に、入院給付金日額に入院した実数（実日数）を乗じた金額を支払う（ただし、事故の日からその日を含めて180日以内の入院に限り、1事故について90日を限度とする）。
通院給付金	医師等の治療を必要とし、事故の日からその日を含めて180日以内に通院した場合に、通院給付金日額に入院した実数（実日数）を乗じた金額を支払う（ただし、事故の日からその日を含めて180日以内の通院に限り、1事故について90日を限度とする）。

1、介護を要する後遺障害に関する項目

等級	介護を要する後遺障害	給付額
第1級	(1)神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、常に介護を要するもの (2)胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、常に介護を要するもの	500万円
第2級	(1)神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、随時介護を要するもの (2)胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、随時介護を要するもの	400万円

2、1以外の後遺障害・および入通院に関する項目

等級	後遺障害	給付額
第1級	(1)両眼が失明したもの (2)咀嚼および言語の機能を廃したもの (3)両上肢をひじ関節以上で失ったもの (4)両上肢の用を全廃したもの	500万円
第1級	(1)両下肢をひざ関節以上で失ったもの (2)両下肢の用を全廃したもの	
第2級	(1)1眼が失明し、他眼の矯正視力(視力の測定は万国式試視力表によるもの)とします。以下同様とします)が0.02以下になったもの (2)両眼の矯正視力が0.02以下になったもの (3)両上肢を手関節以上で失ったもの (4)両下肢を足関節以上で失ったもの	400万円
第3級	(1)1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.06以下になったもの (2)咀嚼または言語の機能を廃したもの (3)神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、終身労務に服することができないもの	350万円
第3級	(4)胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、終身労務に服することができないもの (5)両手の手指を全部失ったもの(手指を失ったものとは、おや指は指節間関節、その他の手指は近位指節間関節以上を失ったものをいいます。以下同様とします。)	
第4級	(1)両眼の矯正視力が0.06以下になったもの (2)咀嚼および言語の機能に著しい傷害を残すもの (3)両耳の聴力を全く失ったもの (4)1上肢をひじ関節以上で失ったもの (5)1下肢をひざ関節以上で失ったもの	300万円

第4級	(6)両手の手指の全ての用を廃したもの(手指の用を廃したものと、手指の末節骨の半分以上を失い、または中手指節関節もしくは近位指節間関節(おや指にあたっては、指節間関節)に著しい運動障害を残すものをいいます。以下同様とします。 (7)両足のリスフラン関節以上でうしなつたもの	
第5級	(1)1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.1以下になつたもの (2)神経系統の機能または精神に著しい障害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができないもの (3)胸腹部臓器の機能に著しい障害を残し、特に軽易な労務以外の労務に服することができないもの (4)1上肢を手関節以上で失つたもの (5)1下肢を足関節以上で失つたもの (6)1上肢の用を全廃したもの (7)1下肢の用を全廃したもの (8)両足の足指を全部失つたもの(足指を失つたものとは、その全部を失つたものをいいます。以下同様とします)	250万円
第6級	(1)両眼の矯正視力が0.1下になつたもの (2)咀嚼または言語の機能に著しい障害を残すもの (3)両耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になつたもの (4)1耳の聴力を全く失い、他耳の聴力が40センチメートル以上の距離では普通の話声を解することができない程度になつたもの (5)脊柱に著しい変形または運動障害を残すもの (6)1上肢の3大関節中の2関節を廃したもの (7)1下肢の3大関節中の2関節を廃したもの (8)1手の5の手指またはおや指を含み4の手指を失つたもの	200万円
第7級	(1)1眼が失明し、他眼の矯正視力が0.6下になつたもの (2)両耳の聴力が40センチメートル以上の距離では普通の話声を解することができない程度になつたもの (3)1耳の聴力を全く失い、他耳の聴力が1メートル以上の距離では普通の話声を解することができない程度になつたもの (4)神経系統の機能または精神に障害を残し、軽易な労務以外の労務に服することができないもの (5)胸腹部臓器の機能に障害を残し、軽易な労務以外の労務に服することができないもの (6)1手のおや指を含み3の手指を失つたものまたはおや指以外の4の手指を失つたもの (7)1手の5の手指またはおや指を含み4の手指の用を廃したもの (8)1足のリスフラン関節以上で失つたもの (9)1上肢に偽関節を残し、著しい運動障害を残すもの (10)1下肢に偽関節を残し、著しい運動障害を残すもの (11)両足の足指の全部の用を廃したもの(足指の用を廃したものと、第1の足指は末節骨の半分以上、その他の足指は遠位指節間関節以上を失つたものまたは中足指節関節もしくは近位指節間関節(第1の足指にあつては、指節間関節)に著しい運動障害を残すものをいいます。以下同様とします。) (12)外貌に著しい醜状を残すもの (13)両側の睾丸を失つたもの	170万円
第8級	(1)1眼が失明し、または1眼の矯正視力が0.02以下になつたもの (2)脊柱に運動障害を残すもの (3)1手のおや指を含み3の手指を失つたものまたはおや指以外の3の	140万円

第8級	<p>手指を失ったもの</p> <p>(4)1手のおや指を含み3の手指の用を廃したのまたはおや指以外の4の手指の用を廃したのもの</p> <p>(5)1下肢を5センチメートル以上短縮したもの</p> <p>(6)1上肢の3大関節中の1関節の用を廃したもの</p> <p>(7)1下肢の3大関節中の1関節の用を廃したもの</p> <p>(8)1上肢に偽関節を残すもの</p> <p>(9)1下肢の偽関節をのこすもの</p> <p>(10)1足の足指を全部を失ったもの</p>	
第9級	<p>(1)両眼の矯正視力が0.6以下になったもの</p> <p>(2)1眼の矯正視力が0.06以下になったもの</p> <p>(3)両眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残すもの</p> <p>(4)両眼のまぶたに著しい欠損を残すもの</p> <p>(5)鼻を欠損し、その機能に著しい障害を残すもの</p> <p>(6)咀嚼および言語の機能に著しい障害を残すもの</p> <p>(7)両耳の聴力が1メートル以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの</p> <p>(8)1耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になり、他耳の聴力が1メートル以上の距離では普通の話声を解することが困難である程度になったもの</p> <p>(9)1耳の聴力を全く失ったもの</p> <p>(10)神経系統の機能または精神に障害を残し、服する労務が相当な程度に制限されるもの</p> <p>(11)胸腹部臓器の機能に障害を残し、服する労務が相当な程度に制限されるもの</p> <p>(12)1手のおや指またはおや指以外の2の手指を失ったもの</p> <p>(13)1手のおや指を含み2の手指の用を廃したのまたはおや指以外の3の手指の用を廃したもの</p> <p>(14)1足の第1の足指を含み2以上の足指を失ったもの</p> <p>(15)1足の足指の全部の用を廃したもの</p> <p>(16)外貌に相当程度の醜状を残すもの</p> <p>(17)生殖器に著しい障害を残すもの</p>	120万円
第10級	<p>(1)1眼の矯正視力が0.1以下になったもの</p> <p>(2)正面視で複視を残すもの</p> <p>(3)咀嚼および言語の機能に障害を残すもの</p> <p>(4)14歯以上に対して歯科補綴(てつ)を加えたもの</p> <p>(5)両耳の聴力が1メートル以上の距離では普通の話声を解すること困難である程度になったもの</p> <p>(6)1耳の聴力が耳に接しなければ大声を解することができない程度になったもの</p> <p>(7)1手の母指または母指以外の2の手指の用を廃したもの</p> <p>(8)1下肢を3センチメートル以上短縮したもの</p> <p>(9)1足の第1の足指または他の4の足指を失ったもの</p> <p>(10)1上肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を残すもの</p> <p>(11)1下肢の3大関節中の1関節の機能に著しい障害を残すもの</p>	100万円
第11級	<p>(1)両眼の眼球に著しい調整機能障害または運動障害を残すもの</p> <p>(2)両眼のまぶたに著しい運動障害を残すもの</p> <p>(3)1眼のまぶたに著しい欠損を残すもの</p> <p>(4)10歯以上に対して歯科補綴(てつ)を加えたもの</p> <p>(5)両耳の聴力が1メートル以上の距離では小声を解することができない程度になったもの</p>	80万円

第11級	(6)1耳の聴力が40センチメートル以上の距離では普通の話声を解することができない程度になったもの (7)脊柱に変形を残すもの (8)1手の示指、中指または環指を失ったもの (9)1足の第1の足指を含み2以上の足指の用を廃したもの (10)胸腹部臓器の機能に障害を残し、労務の遂行に相当な程度の支障があるもの	
第12級	(1)1眼の眼球に著しい調整機能障害または運動障害を残すもの (2)1眼のまぶたに著しい運動障害をのこすもの (3)7歯以上に対して歯科補綴(てつ)を加えたもの (4)1耳の耳殻の大部分を欠損したもの (5)鎖骨、胸骨、肋(ろっ)骨、肩(けん)甲(こう)骨または骨盤骨に著しい変形を残すもの (6)1上肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残すもの (7)1下肢の3大関節中の1関節の機能に障害を残すもの (8)長官骨に変形を残すもの (9)1手の小指を失ったもの (10)1手の示指、中指または環指の用を廃したもの (11)1足の第2の足指を失ったもの、第2の足指を含み2の足指を失ったものまたは大3の足指以下の3の足指を失ったもの (12)1足の第1の足指または他の4の足指の用は廃したもの (13)局部に頑固な神経症状を残すもの (14)外貌(ぼう)に醜状を残すもの	60万円
第13級	(1)1眼の矯正視力が0.6以下になったもの (2)1眼に半盲症、視野狭窄または視野変状を残すもの (3)正面視以外で複視を残すもの (4)両眼のまぶたの一部に欠損を残しまたはまつげはげを残すもの (5)5歯以上に対して歯科補綴(てつ)を加えたもの (6)胸腹部臓器の機能に障害を残すもの (7)1手の小指の用を廃したもの (8)1手の母指の指骨の一部を失ったもの (9)1下肢を1センチメートル以上短縮したもの (10)1足の第3の足指以下の1または2の足指を失ったもの (11)1足の第2の足指の用を廃したもの、第2の足指を含み2の足指の用を廃したものまたは第3の足指以下の3の足指の用を廃したもの	55万円
第14級	(1)1眼のまぶたの一部に欠損を残し、またはまつげはげを残すもの (2)3歯以上に対し歯科補綴(てつ)を加えたもの (1)1耳の聴力が1メートル以上の距離では小声を解することができない程度になったもの (2)上肢の露出面に手のひらの大きさの醜いあとを残すもの (3)下肢の露出面に手のひらの大きさの醜いあとを残すもの (4)1手の母指以外の手指の指骨の一部を失ったもの (5)1手の母指以外の手指の遠位指節間関節を屈伸することができなくなったもの (6)1足の第3の足指以下の1または2の足指の用を廃したもの (7)局部に神経症状を残すもの	50万円
入院	事故により入院したとき、1日目から180日間の90日補償とする。	1日 5000円
通院	事故により通院したとき、1日目から180日間の90日の補償とする。	1日 3000円

クローズド競技会開催における登録・共済適用申請に関わる基準

JMRC中部共済は、JAF公認競技会およびクローズド競技会における共済加入者の人身事故に対する救済を目的として運用しています。これを管理するJMRC中部運営委員会は、共済が適用されるJAF公認競技会、クローズド競技会の全てをあらかじめ把握し管理するため、クローズド競技会を開催する場合は、下記に従って登録および、または適用申請するものとします。

尚、前年度のカレンダー登録調整会議日に登録された場合は、JMRC中部の発行する共通規則書、公式サイト等の公式カレンダーに掲載します。

1. コース公認の無い会場を使用するクローズド競技会の場合

適用申請する場合は、次に従って申請を行ってください。申請が無い場合や申請期日に間に合わなかった場合は適用されません。

- 1) 申請期日:前年度のカレンダー登録調整会議日に申請・登録すること。
または、開催日の2ヶ月前までに申請・登録を行うこと。

2) 申請先:JMRC中部事務局

3) 申請用紙:所定の申請書および本会が提出を依頼したもの

2. コース公認の有る会場を使用するクローズド競技会の場合

適用申請は不要とします。ただし、必ず登録申請を行ってください。

- 1) 登録期日:前年度のカレンダー登録調整会議日に登録すること。
または、JAFに開催届出を行うと同時に登録すること。

2) 登録先:JMRC中部事務局

3) 登録用紙:所定の用紙

3. JAF公認競技会およびJAF公認競技会にクローズド部門を併設する場合

JAFにカレンダー登録された競技会に併設する場合は、登録申請を不要とします。

4. 追加開催・日程変更・会場変更を行う場合

前記に準じて申請・登録を行ってください。

5. 競技保険等

- 1)JMRC中部タイトル戦の場合は、以下を義務付けとします。

*スピード競技の場合

競技保険を含み、地方競技開催に必要な国内競技規則付則の「自動車競技の組織に関する規定」の第4条から第8条までを満足すること。

*ラリー競技の場合

国内競技規則付則の「ラリー競技会組織に関する規定」を満足すること。

- 2)シリーズで行うクローズドイベント(スピード行事)

全ての競技に競技保険を備えること。地方競技開催に必要な国内競技規則付則の「自動車競技の組織に関する規定」の第4条から第8条までを満足するよう強く推奨する。

6. その他の事項については運営委員会にて審議、決定するものとする。

以上

JMRC中部共済適用 承認イベント申請基準

JMRC中部は、モータースポーツ活動の振興と安全の高揚を目的としたイベントにおける会員の人身事故を救済するため、本会が承認するイベントに限り、JMRC中部共済の適用を可能とします。

ただし、JMRC中部共済の適用を受ける場合は、申請・審査・承認の手続きが必要です。

尚、当該イベントが著しく競技性を有する場合は、JAF公認競技(クローズド格式以上)で開催してください。JMRC中部共済の適用申請にあたっては以下の点にご留意ください。

●申請

1. 主催者

JMRC中部に加盟する正会員(クラブ・団体)またはJMRC中部専門部会／委員会とします。

2. 参加者の募集

メディア・公式サイト・郵送等により告知され、公募するイベントであること。

3. 申請書および添付書類

所定の申請書・イベントの告知文書および本会が提出を依頼したもの。

4. 申請期日、方法

開催日の1ヶ月前までに郵送または手渡し。(Fax または e-mail での仮受付可)

5. 給付の対象者

正会員の所属員(クラブ員)とします。

共済会に登録されていないクラブ員は、開催日までに必ず登録を行ってください。

6. 対象範囲

受付から終了時までのイベント会場敷地内におけるイベントに関わる事故。

7. 最高給付限度額

承認イベントでの最高給付限度額は500万円です。

8. 申請書類の送付先

〒509-5142

岐阜県土岐市泉町久尻 1417-47

JMRC 中部事務局 村瀬 秋男

TEL&FAX (0572) 55-5201

以上

JMRC中部共済会加入とクラブ印のお話し

団体加入です。

JMRC中部共済会は、個人加入が出来ません。「団体加入」になりますので貴方が所属するクラブから共済会に登録申請してください。

登録が必要です。

クラブが貴方を登録申請することによって、共済会に加入したことになります。登録申請が無い場合は、未加入あつかいになりますのでご注意ください。

有効期間は？

有効期間は、登録申請日からその年の12月31日までです。ただし、年度が変わってもすぐにクラブ更新が出来ない場合を考慮して、前年度に加盟実績のあるクラブは、新年度の3月31日まで猶予有効期間を設けています。

ライセンス
未所持者

はい、出来ます。
加盟クラブに所属するクラブ員であれば加入できます。ただし、四輪運転免許証所持者に限ります。その場合の加入証明は、運転免許証をコピーして、その裏面に「JMRC中部登録クラブ印」を捺してください。

いつでも登録
できるのですか？

はい、出来ます。
年度登録、追加登録する場合は、郵送して登録してください。
緊急を要する場合は、例外的処置として、前日の24時までにFAX登録も可能です。もちろん、後日正式書類を郵送してください。

競技会での
加入証明は？

参加申込書に「JMRC中部登録クラブ印」が捺してあれば「加入証明」になります。
また、競技会で参加受付確認時に「ライセンス裏面」に「JMRC中部登録クラブ印」が捺してあるかどうかチェックします。
なお、web 参加申込の場合は、当日のライセンス確認が証明となります。
クラブ印が無い場合は文書などをもって当日までに競技に有効な傷害保険の加入を証明してください。できない場合は、参加できない場合があります。
また、イベントに参加される方はJMRC中部共済に加入していることを所属クラブに確認してください。

クラブ
更新中ですが？

年度更新の手続き中などの対応として、3月31日までの参加申込や競技会に参加をする場合に有効ですが、4月の競技会参加時に、新ライセンスに「クラブ印」が無いとNGになります。2020年より「JMRC中部登録クラブ印」には年号の記載があります。
JMRC中部事務局では選手権が始まる3月中旬ごろから4月上旬までクラブの更新状況を毎週ホームページでアップします。(未更新情報も UP 予定)特に4月1日以降に開催されるイベント主催者は必ずホームページで更新状況を確認してください。

クラブ員登録
申請書は？

既存の物でしたらJMRC中部のホームページに有ります。
必要事項が記載して有れば自作の物でも構いません。

JMRC中部モータースポーツ互助会規約

第1条 目的

JAF中部地域クラブ協議会(以下JMRC中部という)は2012年1月7日に制定されたラリー互助会を発展的に解消し、ラリー競技会及びジムカーナ、ダートトライアル競技会(以下スピード競技)等の振興のため、競技参加者の各種負担軽減を目的とする相互扶助制度を設ける。

第2条 名称

JMRC中部モータースポーツ互助会(以下互助会という)とする。

第3条 構成

1. この互助会は、2015年11月30日現在保有するJMRC中部ラリー互助会の積立金を資産とする。
2. 互助会の積み立ては互助会加入金、寄付金等をもってそれに充てるものとする。

第4条 対象者

1. ラリー競技会に参加するクルー、またはスピード競技に参加するドライバーが、JMRC中部に加盟するクラブの所属員で30日以上所属実績があること。
2. ラリー競技会に参加するクルー、またはスピード競技に参加するドライバーがJMRC中部事務局に当該年度の所属員として登録申請されており当該クラブ、団体での活動に実態があること。
3. JMRC中部正会員、賛助会員が主催する走行会や練習会で事前にJMRC中部の承認を得られた大会に参加するドライバー。
4. そのほかJMRC中部が認めた者。

第5条 互助会への加入

1. 互助会に加入する場合は以下の3つのタイプから選択して加入するものとする。

(1)ラリータイプ

加入手続きは第4条の対象者であるドライバーが行なうこと。

ラリー専用の振込用紙にて8,000円の会費(1大会毎の掛け捨て)を郵便局にて大会日以前に確実に振込みすること。また、大会公式参加受付時にその領収書を提示すること。

(2)スピード競技タイプ

スピード競技の場合、スピード競技専用の振り込み用紙にて3,000円の会費(1年間の掛け捨て)を郵便局にて大会日以前に確実に振込みすること。(注1)

ただし年度内に給付を受けたものは新たに給付を受けられないものとする。(注2)

注1:振込み日以前の大会分は無効 注2:再度加入申し込みをした場合は給付を受けられる

(3)イベントタイプ

JMRC 中部正会員、賛助会員が主催する走行会や練習会の場合、主催者は大会開始までに事務局あてに指定の申込書をFAX、メールにて送付し、参加者1名あたり下記の料金を速やかに振り込むこと。

① 記名式 (全参加者の氏名を記入) 300円

② 無記名式 (全参加者の人数を記入) 400円 注1

注1:無記名式の場合、互助会は支払いに際して参加者名簿の提出を求めることがある。その際、参加者名簿よりも互助会申し込み数が少ない場合は該当イベントでの補償しない場合がある。

2. 重複して加入した場合や資格が無い者が加入した場合でも連絡や返金を行わないものとする。

第6条 対象期間

ラリータイプおよびイベント主催タイプの場合は該当する競技会の開催期間としスピード競技タイプの場合は加入日から当該年度12月31日までとする。

第7条 適用競技会等

1. ラリータイプの場合は国内で開催される全てのJAF公認ラリー競技会を対象とする。

但し、他地区の競技会での参加資格に関わる有効性については、当該競技会主催者にクルーが確認し必要に応じて説明する事。(遠方のイベントでの事故では、事故報告の確認が困難であるなど、給付決定に時間がかかる可能性が高いことなどにも留意して加入検討する事。)

2. スピード競技タイプの場合は以下の競技会全戦を対象とする。
 - (1) JMRC中部ジムカーナ、ダートトライアル選手権(通称チャンピオン戦、ミドル戦)全戦
 - (2) JMRC全国オールスタージムカーナ・ダートトライアル
 - (3) JMRC西日本ジムカーナフェスティバル・ダートトライアルフェスティバル
3. イベントタイプの場合はJMRC中部正会員、賛助会員が主催する走行会や練習会でJMRC中部が認めたイベントを対象とする

第8条 補償内容(対人)

■ラリータイプの場合

当該競技中(レッキを含む)に発生した、クルーが加害者となる対人身事故(死亡事故)に対して、1事故

500万円を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

■スピード競技タイプの場合

当該競技中(公開練習を含む)に発生した、ドライバーが加害者となる対人身事故(死亡事故)に対して、1事故500万円を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

■イベントタイプの場合

イベントに参加ドライバー本人の人身事故(死亡事故)に対して1事故500万円を限度として、見舞金を給付する。また、事故により連続7日間以上入院したとき、1日目から180日の範囲内で1日当たり3,000円の見舞金を給付する。ただし、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

第9条補償内容(対物)

■ラリータイプの場合

当該ラリー競技に発生した、クルーが加害者となる対物損事故に対して、1事故200万円(免責10万円)を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該競技に参加する他の競技車両との対物損事故については対象外とする。

車両火災を生じた、あるいは生じうる事態に際し、対物被害発生または被害拡大を防止するために使用した消火器等について対物被害(拡大)防止費用として、1事案50万円(免責5千円)を限度として見舞金を給付する。

また、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

■スピード競技タイプの場合

当該競技中(公開練習を含む)ドライバー本人が加害者となる対物損事故に対して、1事故10万円(免責3万円)を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該競技に参加する他の競技車両との対物損事故については対象外とする。

また、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

なお上記のほかにクラッシュ、転倒などにより明らかに自走不能状態に陥った場合(整備不良が原因となるもの及びエンジントラブル・駆動系トラブル等の故障を除く)は3万円を限度に給付する(免責なし、前項と重複給付可)

■イベントタイプの場合

JMRC中部正会員、賛助会員が主催する走行会や練習会では対物の補償は行わないものとする。

第10条 事故報告

事故報告はドライバー本人が事故発生後速やかにJMRC中部事務局宛に行うこと。原則として30日以内に適切な事故報告が行われなかった場合、給付を行わない場合がある。

事故報告書(発生時の現場詳細図および発生状況説明書)および適正な方法で作成された見積書をJMRC中部事務局に提出すること。ドライバーが報告できない場合は、大会主催者または所属するクラブ員が行うこと。

第11条 給付

1. 事故報告書を基に発生状況を調査の上、運営委員会の審議結果が前項報告者に通知され、運営委員会で給付の承認がされた場合、支払済みの領収書原本をJMRC中部事務局に提出後ドライバーに銀行振り込みにて給付されるものとする。
2. 運営委員会は必要に応じ、第4条の対象者である事についての証明確認を請求者に行う。請求者は対象者であることを証明できない場合、見舞金の給付はなされない場合がある。この場合の証明責任は請求者又は対象者にあるものとする。
3. 見舞金給付後、請求に不正が発覚した場合は見舞金の返還を求めることができる。
4. 不正が悪質と認められる場合、JMRC中部は互助会加入資格取消などを行うことができる。

第12条 管理

1. 本互助会の会計はJMRC中部運営委員会によって管理される。
2. JMRC中部は本互助会の積立額が低額の場合、見舞金給付に備えて各種基金等より100万円を上限に見舞金給付引当金を予算計上するものとする。
3. 本互助会は積立金額を上回る給付が発生した場合、JMRC中部の見舞金給付引当金の範囲内で無利息にて借入れを行い給付することが出来るものとする。ただし公的セーフティネットに入っていないため、見舞金給付金額が互助会積立金またはJMRC中部見舞金給付引当金額を上回った場合は給付できないことを予め承知しなければならない。
4. 本規約の改定は、クラブ・団体代表者会議において過半数の賛成を必要とする。
5. JMRC中部は本互助会に対する債権を放棄して本互助会を解散することができる。

第13条 本規約の施行

本規約は2016年1月1日より施行する。

制定 2015年7月20日
施行 2016年1月 1日
改定 2016年1月 9日
改定 2020年1月11日
改定 2025年2月 1日
改定 2026年1月31日

JMRC中部モータースポーツ互助会加入のご案内

別紙規約を熟読の上以下の要領でお申し込みください

※ラリータイプの記入例

00		払込取扱票													
		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。													
		口座記号					口座番号(右詰で記入)					金額			
		008203					184302					¥8000			
加入者名		JMRC 中部 MS 互助会										料金		備考	
大会名称		○△ラリー2016													
開催日		○月○日から○月○日													
所属クラブ		チーム○○													
ライセンスナンバー		123456891234													
〒		123-456													
愛知県名古屋		市○○区○○町123													
○×マンション		1-23													
おなまえ		山田 太郎										日		附	
(ご連絡先電話番号)		052-1234-5678										印			

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	008203	
	184302	
加入者名	JMRC 中部 MS 互助会	
金額	¥8000	
おなまえ	○△ラリー2016	
ご依頼人	山田 太郎 様	
(消費税込み) 料金	日 附 印	
備考		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しく下さい。

この受領証は、大切に保管してください。

※スピード競技タイプの記入例

00		払込取扱票													
		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。													
		口座記号					口座番号(右詰で記入)					金額			
		008203					184302					¥3000			
加入者名		JMRC 中部 MS 互助会										料金		備考	
スピード競技タイプ															
所属クラブ		チーム○○													
ライセンスナンバー		123456891234													
〒		123-456													
愛知県名古屋		市○○区○○町123													
○×マンション		1-23													
おなまえ		山田 太郎										日		附	
(ご連絡先電話番号)		052-1234-5678										印			

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	008203	
	184302	
加入者名	JMRC 中部 MS 互助会	
金額	¥3000	
おなまえ	スピード行事タイプ	
ご依頼人	山田 太郎 様	
(消費税込み) 料金	日 附 印	
備考		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しく下さい。

この受領証は、大切に保管してください。

※イベントタイプの記入例

払込取扱票													
00		口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。											
口座記号				口座番号 (右詰で記入)								金額	
00820				3184302								¥6000	
加入者名		JMRC 中部MS 互助会						料金		備考			
大会名称 ○△□走行会 開催日 ○月○日 JMRC中部承認日 ○月○日 加盟団体 株式会社〇〇 開催場所 ○△サーキット 参加人数 20名 〒 123 456 おなまえ 愛知県名古屋市〇〇区〇〇町123 おなまえ 株式会社〇〇 代表取締役 山田太郎 様 (ご連絡先電話番号 052-1234 5678)													
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。													

各票の※印欄は、ご依頼人様においてご記入ください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証											
口座記号番号		00820-3									
加入者名		JMRC 中部MS 互助会									
金額		¥6000									
おなまえ		○△□走行会									
ご依頼人		株式会社〇〇									
		代表取締役 山田太郎 様									
(消費税込み)		日 附 印									
料金		円									
備考											

この受領証は、大切に保管してください。

J M R C 中部スポーツ安全保険加入支援規定

J A F 中部地域クラブ協議会（以下、J M R C 中部という）は、本会に加盟するクラブ・団体の所属員の福利厚生のためにスポーツ安全保険加入支援制度を設け、本規定をもって運用する。

第1条（目的）

この規定は、J M R C 中部が会員の福利厚生のためにスポーツ安全保険加入支援制度を設け、必要な事項を定める。

第2条（事業）

この制度は、J M R C 中部が加入を希望する会員に対してスポーツ安全保険の加入金の一部として1名当たり1,000円を補助する。

第3条（対象者）

1. この制度の対象者は、J M R C 中部に加盟するクラブ・団体の所属員とし申請時においてクラブ、団体に30日以上所属実績があるものとする。
2. 補助を受けたものでJ M R C 中部のクラブ、団体での活動に実態が無いと確認された場合、補助金の返金を求める場合がある。
3. 補助人数の上限は公認団体、公認クラブ30名、加盟クラブ15名、準加盟クラブ10名、承認クラブ5名とする。

第4条（補助申請方法）

1. スポーツ安全保険の加入は各クラブ単位で行うものとする。なお、登録時の団体名にJ M R C 中部と記載すること。（例：J M R C 中部〇〇〇レーシングクラブ）
2. 新規加盟時または年度更新時において提出するJ A F 中部地域クラブ協議会共済会クラブ員登録申請書に併せて、スポーツ安全保険加入者団体員名簿、払い込み完了通知書の写しを郵送、または電子メールにて送付するものとする。
3. 補助金の申請は1クラブあたり年度毎に1回のみとし3月1日から4月末日までに申請するものとする。
4. 補助金の支給は銀行振り込みにてクラブ指定の口座に振り込むものとする。なお、その場合の振込み手数料はクラブの負担とする。

第5条（財源）

本制度は原則として限りのあるJ M R C 中部基金を財源とするため制度利用者の増加や基金の減少により中止や廃止されることを予め承知しなければならない。

第6条（本規定の改定）

本規定の改定は、クラブ・団体代表者会議において過半数の賛成を必要とする。

第7条（その他）

J A F 公認競技会において監督役務や審査委員を務める予定があるものは本制度の利用を強く推奨するものとする。

第8条（本規定の施行）

本規定は2016年1月1日より施行する。

以上

2015年7月20日制定

2016年1月 1日施行

2016年1月 9日改正

2017年1月14日改定

JMRC中部モータースポーツ振興基金規定

JAF中部地域クラブ協議会（以下、JMRC中部という）は、JMRC中部の事務局開設、維持を目的に積み立てられた維持準備金、及びJMRC中部基金をJMRC中部の運営、モータースポーツの振興を目的とし、本規定をもって制定し運用する。

第1条（目的）

この規定は、JMRC中部が中部地区のモータースポーツ振興及び事務局の維持、開設をはかるために設定したJMRC中部モータースポーツ振興基金（以下「基金」という）に関し、必要な事項を定める。

第2条（事業）

この基金は、JMRC中部が主に中部地区のモータースポーツを振興するために行われる事業や事務局の開設、維持に必要な費用、及び会員の福利厚生にあてる。

第3条（構成）

1. この基金は、2016年11月30日現在保有する維持準備金、及びJMRC中部基金を基本とした資産とする。
2. 基金の積み立ては一般会計の余剰金、寄付金をもってそれに充てるものとする。

第4条（管理）

1. この基金の管理並びにその運用は運営委員会が行う。
2. 基金を取り崩す場合は運営委員会及びクラブ・団体代表者会議の承認を得て一般会計に繰り入れるものとする。

第5条（本規定の改定）

本規定の改定は、クラブ・団体代表者会議において過半数の賛成を必要とする。

第6条（本規定の施行）

本規定は2016年1月1日より施行する。

以上

2015年7月20日制定
2016年1月 1日施行
2017年1月14日改定

資料

■ 2025年度JMRC中部加盟・クラブ団体数

2025年12月現在

	公認 クラブ	加盟 クラブ	準加盟 クラブ	承認 クラブ	賛助 団体	加盟 団体	合 計
富山支部		4	3	3			10
石川支部		6	5				11
福井支部		2	3				5
岐阜支部		6	6	3			15
静岡支部		7	7				14
愛知支部	2	18	30	7	2	1	60
三重支部	1	3	8	1			13
合 計	3	47	61	14	2	1	128

■ JMRC中部共済

■ 中部地区許可証

共済年度別加入者数				許可証所持者数			
1993年	10,073	2017年	2,671	1995年	8,418	2010年	6,879
1994年	9,462	2018年	2,314	1996年	8,213	2011年	6,732
1995年	8,547	2019年	2,656	1997年	7,896	2012年	6,816
1996年	2,840	2020年	2,507	1998年	7,547	2013年	7,115
1997年	4,748	2021年	2,567	1999年	7,505	2014年	7,307
1998年	4,059	2022年	2,293	2000年	7,243	2015年	7,603
1999年	4,737	2023年	2,680	2001年	7,099	2016年	7,820
2000年	4,538	2024年	2,728	2002年	7,092	2017年	8,191
2001年	4,317	2025年	2,702	2003年	7,033	2018年	8,246
2002年	4,186			2004年	7,085	2019年	8,300
2003年	3,607			2005年	6,730	2020年	8,225
2004年	2,909			2006年	6,250	2021年	8,484
2005年	2,787			2007年	5,930	2022年	8,396
2006年	3,260			2008年	7,007	2023年	8,394
2007年	2,803			2009年	7,007	2024年	8,547
2008年	3,002			許可証発給件数			
2009年	2,868			2025年	11,111		
2010年	2,715						
2011年	2,569						
2012年	2,515						
2013年	2,499						
2014年	2,499						
2015年	2,567						
2016年	2,570						

2025年度 JMRC中部 加盟クラブ名簿

富山支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
2-16003	ビッグハンズスポーツクラブ	BIGVAN	芳田 浩二	939-8003	富山県富山市西公文名町3-18		076-422-2697
2-16004	チームエー・ビー・シー	TEAM ABC	塩岡 雅敏	930-0982	富山県富山市荒川1-2-18		076-431-3674
2-16010	チーム・オブ・モーターボーイズ	TOMBO	小杉 兼一	939-8183	富山県富山市小中407	小杉建設内	076-429-0419
2-16011	モータースポーツチーム PUMA	PUMA	中西 正亮	939-0351	富山県射水市戸破1637	株式会社 PUMA MS部	0766-57-8181
3-16030	つちのこ	TCNC	高畑 智之	939-2622	富山県婦中市千里1334-17		090-1635-3432
3-16031	Team PROJECT K	PROJECT K	吉村 祐司	933-0813	富山県高岡市下伏間江575		0766-23-5502
3-16034	カーアドベンチャートライアルオースポーツ	CAT	山岡 昇	932-0231	富山県南砺市山見1205		0763-82-0845
4-16001	Best Of Motorsports Boys	BOMB	辺城 拓郎	930-0826	富山県富山市上庄町2		076-451-5258
4-16002	EMOTION	EMOTION	渋谷 達也	934-0042	富山県射水市作道691-6		0766-84-1214
4-16003	和合タイヤレーシング クラブ	MSC-WAGO	村井 勝	930-2243	富山県富山市四方荒屋1453-1		076-435-2673

石川支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
2-17001	石川レーシングクラブ	IRC	市川 大輔	920-0057	石川県金沢市桜田町3-29	サーパス桜田町二番館605号	076-232-0779
2-17002	アール・エイト・石川	R-8石川	見沢 宏徳	921-8813	石川県野々市市下林1丁目388		050-3432-4133
2-17003	マイベースラリーチームオブ金沢	MRT-金沢	大弥 保憲	924-0862	石川県白山市安田町35-1		076-204-6860
2-17008	ユニシレーシングメイト	KRM	中田 利明	920-0064	石川県金沢市南新保口-43	小西タイヤサービス内	076-237-4727
2-17011	スリーR	Three-R	福田 淳三	924-0836	石川県白山市山島台3-118		076-276-5753
2-17016	モータースポーツクラブ門前	MSC MONZEN	新木 正	927-2165	石川県輪島市門前町黒島町口の100		0768-42-2025
3-17018	アイエムエスシー	IMSC	吉本 紀隆	920-0164	石川県金沢市堅田町甲43-15		076-258-4531
3-17021	チーム トラップ スポーツ	TOLAP	門田 茂	921-8805	石川県野々市市福荷2-75		076-294-3641
3-17027	トライアルチームアクティブスポーツ	TTAS	若林 浩二	921-8802	石川県野々市市押野5-224		076-294-4775
3-17028	アトラクシオンチームスピリッツ	Team ATT'S	船塚 仁嗣	929-1721	石川県鹿島郡中能登町井田86-64		0767-76-1401
4-17004	Brand-New Speed	BNS	松田 義則	920-0811	石川県金沢市小坂町西112-1	メイト東金沢101	076-257-5136

福井支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
2-18001	チーム うらら	URARA	山田 哲次	910-4127	福井県あわら市西温泉2-707-2		0776-78-5821
2-18003	オートスポーツクラブ福井	ASC-F	前田 裕樹	910-0845	福井県福井市志比口1丁目8-1	トヨタロープ福井株式会社	0776-53-6000
3-18011	アイ スペック スポーツ	I-S-S	山田 将史	910-0135	福井県福井市上野本町新807	市住上野団地 E123	0776-56-4511
3-18012	ラリーチーム ビッグアンドブライト	TEAM B&B	竹中 耕一	914-0146	福井県敦賀市金山68-5-3		0770-22-4201
3-18015	ダックビル・モータースポーツクラブ	Duck bill	鳥居 昭夫	919-1314	福井県三方上中郡若狭町能登野33-16-2		090-3292-7984

岐阜支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
2-21002	東濃カーズポーツクラブ	CCST	村瀬 秋男	509-5142	岐阜県土岐市泉町久尻1417-47		0572-55-5201
2-21003	ラリーチームニシ	RTN	柳原 勝巳	500-8244	岐阜県岐阜市細塚浦29-1		058-248-6465
2-21016	コルトモーターズポーツクラブ岐阜	CMSC岐阜	三枝 重光	509-7203	岐阜県恵那市長島町正家1067-260		0573-25-6048
2-21023	中日本自動車短期大学レーシングクラブ	ARCN	森 光弘	505-0077	岐阜県加茂郡坂祝町深萱1301	中日本自動車短期大学	0574-26-7121
2-21024	プレジャーモーターズポーツクラブ	Pleasure	石井 公久	503-0836	岐阜県大垣市大井4-44-1	プレジャーレーシングサーブス内	0584-87-0687
2-21026	ENAモーターズポーツクラブ	ENA.C	三枝 重光	509-7203	岐阜県恵那市長島町正家1067-260		0573-25-6048
3-21004	チームクマガザレーシング	TKR	河合 久良	501-6322	岐阜県羽島市桑原町前野1237-2		058-398-8902
3-21010	チーム ロッド	ROD	小池 久人	508-0111	岐阜県中津川市瀬戸1577-5		0573-66-4948
3-21055	ガレージマックモーターズポーツクラブ	Mac Sport	河合 正好	501-6017	岐阜県羽島郡岐南町徳田西3-97-1	ガレージマック	058-276-9045
3-21057	モーターズポーツクラブまんざく	まんざく	井上 尚志	504-0852	岐阜県各務原市蘇原古市場町1丁目7	まんざく自動車	058-380-5461
3-21058	フォミュラーモーターズポーツクラブ	FORMULA	小川 国大	504-0011	岐阜県各務原市郡加北洞町2-150-2	モンテカルロ内	0583-89-1505
3-21059	ガレージクロノスレーシングチーム	GCRT	栗本 利也	501-6331	岐阜県羽島市堀津町横手1-23	ガレージクロノス内	058-377-3438
4-21001	チーム アタック	ATTACK	尾藤 公紀	501-4614	岐阜県郡上市大和町島5901-1		0575-88-3261
4-21002	SP-Racing	SP-R	季羽 史子	503-2205	岐阜県大垣市神明1-16-7		0584-71-5034
4-21003	KYB自動車部	KYB	長江 将典	488-0002	愛知県尾張旭市根の鼻町1丁目2-3		090-9923-3543

静岡支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
2-22011	チーム シェラトン	SHERATON	三浦 悦子	432-8033	静岡県浜松市中区海老塚2-25-36		053-455-3577
2-22028	スポーツクラブ・スカラー	TEAM SCALAR	池谷 哲志	433-8108	静岡県浜松市北区根洗町198-2	イケヤボディースービス	053-437-9010
2-22033	チーム アール アンド アール	R&R	山崎 哲也	430-0905	静岡県浜松市中区池川町28-5		053-471-0944
2-22031	アジュール レーシングスポーツクラブ	AZUR-RS	川村 徹	417-0061	静岡県富士市伝法946-16	アジュール内	0545-71-9575
2-22049	チーム エムアイ	M-I	前島 孝光	432-8012	静岡県浜松市東区子安町302-7	(有)エムファクトリー内	053-473-4342
2-22050	チーム テイクス	TAKE'S	鎌野 賢志	410-1126	静岡県裾野市桃園27	(有)テイクス	0559-93-9815
2-22051	富士そのらりー観光プロジェクト	FSRKP	土屋 祐一	410-1102	静岡県裾野市深良1194-3		055-960-9845
3-22001	モーターズポーツクラブ・ギャザー	MSC-G	鈴木 功人	434-0044	静岡県浜松市浜北区内野3058		053-586-8257
3-22049	ベラムモーターズポーツクラブ	BMSC	前田 好昭	421-0132	静岡県静岡市駿河区上川原24-8	ヴイラA202	090-8336-2648
3-22062	チーム ヴェントス	VENTO'S	加茂 博昭	432-8071	静岡県浜松市中央区西都台町3-13		053-570-2713
3-22066	コルト・モーターズポーツクラブ浜松	CMSC浜松	荒津 啓司	441-8124	静岡県豊橋市野依町宇西川49		0532-25-4196
3-22086	チーム ユニコーン	UNICORN	石澤 仁敏	425-0088	静岡県焼津市大覚寺1-10-1		054-628-1608
3-22090	チーム エンケイ	ENKEI	小野田 真弓	430-0904	静岡県浜松市中区中沢町66-13		053-472-3589
3-22092	イースレーシングチーム	EATH	落合 啓司	435-0055	静岡県浜松市中区十軒町276-1	ムーンリバーサイド202号	053-468-2183

愛知支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
1-23001	名古屋レーシングクラブ	NRC	青木 啓児	454-0841	愛知県名古屋市中川区押元町11-21-2		090-4178-1963
1-23002	グループ オブ スピードスポーツ	GSS	関 哲也	464-0801	愛知県名古屋千種区星ヶ丘2-3	サンクレア星ヶ丘601	090-2180-9524
2-23002	オートスポーツクラブアツタ	AASC	小出 正則	497-0034	愛知県海部郡蟹江町本町12-62		0567-96-7335
2-23008	エフ オートスポーツ クラブ	FASC	山崎 利博	471-0823	愛知県豊田市今町1丁目22-4		090-8325-4084
2-23011	エムオートスポーツクラブ	MASC	米谷 展生	480-1103	愛知県長久手市琵琶ヶ池20-1	(株)LUCK内	0561-63-0101
2-23014	チームスペシャルロードモータースポーツクラブ	TSRC	橋村 和樹	492-8411	愛知県稲沢市北島町大門西31	コーヒー専門店ライセンス内	0567-36-4973
2-23017	チーム シロキヤ	SHIROKIYA	新堂 啓太	444-1206	愛知県安城市城ヶ入町高樫3-1		090-5030-3332
2-23024	ケーフン レーシング チーム	K-one R	竹谷 一徳	456-0032	愛知県名古屋市熱田区三本松町2-18	㈱共栄タイヤサービス内	052-871-2055
2-23029	チーム リミット	LIMIT	木村 政伸	457-0051	愛知県名古屋市南区笠寺町上新町47		052-821-4288
2-23036	熱田レーシングクラブ	ARC	山田 浩二	471-0014	愛知県豊田市東山町2-1515-48		0565-98-3531
2-23041	チーム ゼスト	ZEST	坂 和磨	444-0902	愛知県岡崎市船越町字西沖4番地2	シニアフオニア岡崎西807号室	0566-32-8850
2-23056	チームカウンタダウン	T-321	松下 和樹	472-0045	愛知県知立市長篠町新田東23-7	株式会社 ゼスト内	0566-83-0030
2-23059	パームタウン	PALM TOWN	岩月 邦博	446-0007	愛知県安城市東栄町2-7-13		090-5611-9608
2-23061	ダイナミック・オート・ラリー・チーム	DART	徳能 大輔	4750078	愛知県半田市新池町2-205-12	ビバリーヒルズ101	0569-29-5513
2-23068	カーズ東海レーシングクラブ	CTRC	森本 守孝	479-0807	愛知県常滑市小笠谷字赤松26		0569-37-0363
2-23081	アールエスタケダ	RST	武田 浩美	468-0013	愛知県名古屋市中区荒池2-1315		052-802-0647
2-23083	NAVUL	NAVUL	伊藤 康則	455-0873	愛知県名古屋市中区春田野2丁目2902	NTP名古屋トベット㈱ FTD事業カハニFTD事業部	052-683-2562
2-23084	美浜モータースポーツクラブ	MMSC	浅井 昭太	470-3235	愛知県知多郡美浜町野間字馬池16	株式会社 美浜サーキット・クニモト	0569-87-3003
2-23085	トヨタオートスポーツクラブ	TEAM-TASC	新井 健悟	412-0034	静岡県御殿場市大坂325-2	グランピュア・カミヤ303	090-3527-0155
2-23087	チームTガレージ	T.T.G	寺田 伸	474-0052	愛知県大府市長草町車池16-229	オートショップTガレージ	0562-48-4745
3-23010	ラリーチームアジャスト	ADJUST	成田 綾子	457-0055	愛知県名古屋市中区星宮町220番地		052-824-8577
3-23023	チーム 愛豊	T-AIHO	中根 秀之	442-0863	愛知県豊川市平尾町上藤井28-2		0533-87-3817
3-23038	チームエイト・三河オブラリー	TEM-R	雷永 英己	444-0043	愛知県西尾市鶴ヶ池町中屋敷124		0563-56-5337
3-23041	チームスワイフ	SWIFT	田中 佑樹	442-0844	愛知県豊川市小田淵町3-40	(有)伊藤木型内スワイフ事務局	0533-88-4734
3-23066	チーム アトレート	ATHLETE	大橋 昌樹	468-0053	愛知県名古屋市中区植田南2-602	(有)コスモス	052-802-1199
3-23089	ラリーメイト エイム	R.M.A	宮本 雅彦	471-0835	愛知県豊田市曙町5-34		0565-26-8598
3-23092	山口タイモータースポーツクラブ	Y.T.M.S.C	神原 浩之	444-0504	愛知県西尾市吉良町友国字高崎32		090-3550-1149
3-23098	チーム クルーザーズ	CRUISERS	渡邊 和男	446-0071	愛知県安城市今池町3-2-51	ガーデンヒルズ今池 508号	0566-97-3669
3-23104	チーム・ワイドオープンスロトル	T.W.O.T	長坂 敏彦	446-0032	愛知県安城市御幸本町4-2	シテイコーブ安城駅前601	090-3566-8400
3-23141	ホリエ スピード	H.S	堀江 真徳	441-3212	愛知県豊橋市東赤沢町坪ノ谷684		0532-23-3824
3-23150	チーム・エキスポバート・スポーツ	T.E.S	杉浦 利明	471-0843	愛知県豊田市清水町1-48	久興自動車	0565-28-3580
3-23158	ランナバウトスポーツチーム	RUNABOUT	小川 浩幸	484-0902	愛知県犬山市宇治分91-5	(有)小川自動車整備工場内 RUNABOUT事務局	0568-67-0602
3-23200	チームアールエス	Team RS	六車 健	444-0058	愛知県安城市城南町1-3-1	リコット三河安城301	090-4781-7351
3-23202	大同工業大学自動車部	DMSC	大同大学自動車部	457-0819	愛知県名古屋市中区滝春町10-3		052-612-6111
3-23240	アレンジレーシングチーム	ARRANGE	友利 浩之	491-0063	愛知県一宮市常願通7-7-1.8-1	オートスポーツアレンジ	0586-26-3455
3-23250	チーム ミッドレス	MIDRESS	神谷 裕幸	471-0853	愛知県豊田市細谷町7-18 ネットヨタ中部㈱	GR Garage ミッドレス豊田	0565-25-3051
3-23252	チーム・アージュエント	T-URGENT	加藤 健二	459-8001	愛知県名古屋市中区大高町字一番割69	ガレージ アージュエント	052-624-0270
3-23255	モータースポーツクラブ豊橋	MSC豊橋	吉村 潤史	441-8077	愛知県豊橋市神野新田町ヘノ割37-1	オートプロデュースゼスト内	0532-34-4377

愛知支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
3-23256	コルトモータースポーツクラブ愛知	CMSC愛知	吉野 正則	451-0025	愛知県稲沢市奥田木塚町5		090-3467-9857
3-23257	小林自動車レーシングプロジェクト	KRP	久田 哲史	445-0013	愛知県西尾市員吹町油ノ木43		0563-52-1735
3-23260	チーム エムアーツ	M-ARTS	大須賀 義外	489-0805	愛知県瀬戸市陶原町4-7	バンベール瀬戸402	090-7853-3177
3-23269	名古屋大学体育会自動車部	nuac	杉山 大輔	464-0814	愛知県名古屋市中千種区不老町	名古屋大学体育会内自動車部ガレージ	070-1272-3555
3-23270	豊田自動車 Racing Team	TRT	天野 智之	470-0304	愛知県みよし市三好が丘桜1-4-3	フルレジン三好ヶ丘103号	090-3850-8528
3-23271	ZEAL Autosport Club	ZAC	村木 花奈江	463-0052	愛知県名古屋市中山区小幡宮ノ腰6-13		052-793-1605
3-23272	team LD	LD	清水 聡志	467-0834	愛知県名古屋市中区瑞穂区姫宮町2-19-1	グランプリロード202	090-9514-5492
3-23273	TOOLBOXモータースポーツ部	TOOLBOX	室本 誠悟	444-1222	愛知県安城市和泉町大海古3-12	TOOLBOX内	0566-56-4015
3-23274	チーム プロジェクトトウカイ	PRO.T	西 真澄	485-0054	愛知県小牧市多気西町90	(株)東海自動車内	0568-68-8593
3-23276	HIROSHI Racing Club	The H.R.C	藤原 広柴	471-0845	愛知県豊田市田中町2-40-1230		080-1880-0449
3-23277	チーム ポート 豊橋	PORT.T	小林 均	441-8019	愛知県豊橋市花田町齊藤62		0532-31-3959
3-23278	チーム シャレット	SHALET	炭山 裕矢	485-0016	愛知県小牧市大字間々原新田字古天王758-1		0568-75-2250
4-23001	チーム 赤兎	SEKITO	中西 正吉	441-0105	愛知県豊川市伊奈町北村205		0533-72-6798
4-23002	オカザえもんRACING TEAM	OKZMN	加藤 尚之	444-3616	愛知県岡崎市片寄町字細久後9-8	Power Box内	0564-77-3530
4-23003	モータースポーツクラブ アビリティ	MSCA	中島 孝恭	242-0005	神奈川県大和市西鶴間7丁目16-1		046-204-9846
4-23004	スポーツクラブゴルフサ	SCC	栗本 忠行	496-0014	愛知県津島市金柳町神様田226	ガレージゴルフサ	0567-32-3358
4-23005	LOCK ON!	LOCK ON!	山田 拓	453-0866	愛知県名古屋市中村区横井1-259	ブレザンファミ201	052-412-6322
4-23006	Team Pylon Kid's	P.K.	安井 忠史	444-2115	愛知県岡崎市百々町四ツ谷52-3		0564-73-2748
4-23008	PTA	PTA	柏木 良文	444-1154	愛知県安城市桜井町貝戸尻14		0566-99-6479
5-23001	JAF加盟団体 株式会社ZEST	ZEST	松下 和樹	472-0045	愛知県立市長篠町新田東23-7	株式会社ゼスト内	0566-83-0030
5-23003	アイシン技術会	アイシン技術会	村田 晃宏	444-1192	愛知県安城市藤井町高根10番地	安城ものづくりセンター内 ものづくり車新部	090-6387-3526
6-23010	豊田市	HRS	塚田 知宏	471-8501	愛知県豊田市西町3-60		0565-34-6950

三重支部

登録No.	クラブ正式名称	クラブ略称名	事務局	郵便番号	住所1	住所2	TEL
1-24001	鈴鹿モータースポーツクラブ	SMSC	上野 和俊	510-0295	三重県鈴鹿市稻生町7992	株式会社モビリティランド鈴鹿サーキット	059-378-3405
2-24024	トライアルスタップオン!	ON!	竜田 健	513-0041	三重県鈴鹿市長太新町4-2-36	スタップオン合資会社	059-385-4019
2-24026	チーム バドック	PADDOCK	三村 和武	510-0001	三重県四日市市八田3-2-9	サンガレージ	059-363-5356
2-24027	ブリックリーヴハップレンジュポルトクラブ	BBRC	島山 純綱	510-0071	三重県四日市市西浦2丁目13-20	島山印刷株式会社内	
3-24031	エー・レーシング・ファクトリー	ARF	阿師村 俊次	510-8027	三重県四日市市茂福320		0593-65-4034
3-24063	チーム 妖怪	yohkai	清本 享志	512-0902	三重県四日市市小杉町1890		090-8542-7479
3-24064	チーム アンテロープ	ANTELOPE	門田 忠純	511-0912	三重県桑名市星見ヶ丘9丁目905		0564-32-0564
3-24066	ジョイ モータースポーツ クラブ	JOY	坂口 嘉朋	514-2204	三重県津市芸濃町雲林院1012-3	坂口自動車整備工場	059-265-3070
3-24067	チーム スズカ ユーアイ	TSY	駒田 竜司	510-0318	三重県津市河芸町社の街2-30-6		059-212-0116
3-24070	CS.LEMAN	CS.LEMAN	東 毅	514-0102	三重県津市栗真町屋敷945-51		059-232-1787
3-24071	トライアルチーム ロッキーマインミエ	TTR.M	渡辺 徹	515-0317	三重県多気郡明和町池村1372	カーショップ ル・マン	0596-52-0099
3-24074	ルフモータースポーツクラブ	Luft MSC	石原 隆	519-1117	三重県亀山市関町泉ヶ丘1011-233		059-592-5322
4-24001	チーム ハヤマ	HRS	榎本 利弘	510-0086	三重県四日市市諏訪栄町6-25-1203		090-8158-8012

JMRC中部選手権戦 歴代チャンピオン

■ラリーチャンピオンシリーズ

		ドライバー部門	ナビゲータ部門			ドライバー部門	コ・ドライバー部門
2000年	Aクラス Bクラス Cクラス	藤田 哲也 小中 利市 川田 三千彦	鹿肝 利明 本道 治成 落合 光	2018年	DE6クラス DE4/5クラス DE3クラス	林 正嗣 下口 紘輝 加藤 英祐	白崎 清之 安藤 裕一 塩田 卓史
2001年	Aクラス Bクラス Cクラス	杉山 昇 山口 清司 徳能 大輔	北田 稔 内野 稔秀 池田 稔	2019年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	林 正嗣 鮫島 大湖 加藤 英祐 兼松 由奈	白崎 清之 船木 佐知子 塩田 卓史 浅田 優希
2002年	Aクラス Bクラス Cクラス	藤田 哲也 天野 智之 秋沢 克己	鹿肝 利明 井上 裕紀子 棚木 宏幸	2020年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	三枝 聖弥 下口 紘輝 福田 卓也 洪 銘蔚	吉田 和徳 鈴木 眞由美 中根 秀之 浦 雅史
2003年	Aクラス Bクラス Cクラス	不成立 高橋 悟志 田口 慎二	不成立 大串 仁之 奥村 久継	2021年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	林 正嗣 山田 啓介 田中 潤 洪 銘蔚	白崎 清之 山下 恭平 北田 稔 坂井 智幸
2004年	Aクラス Bクラス Cクラス	不成立 広上 徹 平林 織部	不成立 佐々木 翔 田中 久夫	2022年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	三枝 光博 石川 紗織 福島 徳也 洪 銘蔚	兼松 智志 山下 恭平 鈴木 康敬 浦 雅史
2005年	Aクラス Bクラス Cクラス	不成立 今井 康博 小川 博史	不成立 大串 仁之 森脇 克也	2023年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	蒲生 裕一 貝原 聖也 島根 剛 洪 銘蔚	前田 健吾 西崎 佳代子 藤沢 繁利 坂井 智幸
2006年	Aクラス Bクラス Cクラス Dクラス	西山 敏 眞貝 知志 香川 秀樹 中村 晃規	中野 淳 澤田 耕一 船木 一祥 中川 亜希子	2024年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	伊藤 淳郎 下口 紘輝 福中 喬祐 横山 慎太郎	前田 健吾 小林 一貴 中島 秀一郎 坂井 智幸
2007年	Aクラス Bクラス Cクラス Dクラス	明治 慎太郎 板本 敬二 香川 秀樹 大倉 聡	足立 さやか 佐々木 翔 船木 一祥 保井 隆宏	2025年	DE1クラス DE2クラス DE5クラス DE6クラス	高畑 智之 鈴木 海斗 明治 慎太郎 横山 慎太郎	大西 紗智 栗川 創 坂口 元弥 立原 佳孝
2008年	Aクラス Bクラス Cクラス	里 貴之 板本 敬二 田邊 巨	石田 一輝 北田 稔 黒木 崇史				
2009年	Aクラス Bクラス Cクラス	岩井 謙治 濱井 義郎 那須 文章	丹羽 貴裕 鈴木 眞由美 前田 健吾				
2010年	DE4クラス DE3クラス DE2クラス	藤川 勝行 山村 浩三 上条 泰	青木 弘之 内田 園美 辻 正男				
2011年	DE4クラス DE3クラス DE2クラス	宮本 雅彦 岩井 謙治 船木 淳史	青木 弘之 丹羽 貴裕 神山 佐知子				
2012年	DE4クラス DE3クラス DE2クラス	村上 健 柴田 哲郎 武田 雄一郎	鈴木 和人 野口 恒太 武田 友己				
2013年	DE4クラス DE3クラス DE2クラス	宮本 雅彦 寺島 信也 西村 修	杉原 慶彦 関根 慎二 武田 友由己				
2014年	DE6クラス DE5クラス DE3クラス DE2クラス	宮本 雅彦 寺島 信也 坂井 智幸 金井 優大 野村 長	前田 健吾 関根 慎二 鎌野 賢志 安永 裕 山村 浩二				
2015年	DE6クラス DE5クラス DE3クラス	宮本 雅彦 西村 修 福田 卓也	鈴木 眞由美 坂口 進 中根 秀之				
2016年	DE6クラス DE4/5クラス DE3クラス	村上 健 石原 裕也 佐藤 光理	前田 健吾 小林 剛 塩田 卓史				
2017年	DE6クラス DE4/5クラス DE3クラス	村上 健 上坂 英正 佐藤 光理	漆戸 あゆみ 山下 恭平 中根 秀之				

■ラリーターマックシリーズ

		ドライバー部門	ナビゲータ部門			ドライバー部門	ナビゲータ部門
2000年		木下 誠一	棚木 宏幸	2004年	Iクラス IIクラス	高木 大輔 蒲生 裕一	中川 啓介 前田 健吾
2001年		小川 博史	御領 親幸	2005年	Iクラス IIクラス	谷川 慶輔 田口 伸	永田 征秀 伊藤 順子
2002年	Iクラス IIクラス	山村 浩三 蒲生 裕一	中川 博史 前田 健吾	2006年	Iクラス IIクラス	藤田 哲也 木田 拓也	坂本 啓二 坂口 進
2003年	Iクラス IIクラス	福島 徳也 小村 健二	千葉 聡司 保田 将史	2007年		田中 健三	小川博史

■ラリーチャレンジシリーズ

	ドライバー部門	コ・ドライバー部門
2010年	假屋 優	大橋 智樹
2011年	内田 園美	池嶋 賢
2012年	坂井 智幸	田所 譲
2013年	辻 寛司	川島 健司
2014年	沖田 佑真	廣瀬 秀樹
2015年	安藤 裕一	林 剛
2016年	浅井 康介	里中 謙太
2017年	久喜 啓司	船木 淳史
2018年	石井 元紀	村木 花奈江
2019年	野澤 雅史	野澤 孝之
2020年	不成立	不成立

	ドライバー部門	コ・ドライバー部門
2021年	鈴木 海斗	小川 悟志
2022年	奥田 晃弘	船木 淳史
2023年	田中 佑樹	船木 一祥
2024年	入川 瞬	白崎 清之
2025年	亀石 典	神田 英樹

JMRC中部選手権戦 歴代チャンピオン

■ジムカーナ選手権

2000年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	向井直美 梶浦善孝 野谷光之 深谷宏幸 中農久弥 関和基 鈴木祐美子 川村徹
2001年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	向井直美 朝山崇 樫山慶 大石博之 岡部隆市 庄谷明二 野口善二 川村徹
2002年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	石崎奈美 緒方崇之 樫山慶 大石博之 岡部隆一 ヒロシヨウヤ 不成立仁 村上
2003年	L N1 N2 N3 N4 S1 S2 S3 D	谷口治子 小嶋修 加藤秀彰 阿部洋一 林智博 稲垣守之 大石博之 桃井守 五十嵐豊光 橋成美
2004年	L N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 D	奈良橋隆昭 今村光之 野嶋昭時 林智博 稲垣守 奥村和也 鳥居孝成 川村徹
2005年	L N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 D	奈良橋成美 朝山崇 大須賀義外 小松満明 岡部隆市 黒谷尚純 大石博之 谷津治子 川村徹
2006年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 D	津川真由美 季羽史子 今村隆昭 樫山慶彦 上本昌彦 中農久弥 三宅孝和 奥村和也 大橋渡徹

■ダートトライアル選手権

2000年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	栗本登美 水谷元勅 藤井智行人 高木勝人 榎田正文 村瀬秋文 太田雅光 三枝重光 若月人
2001年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	宮島みどり 堀内隆 古本順郎 澤田昌充 伊藤祥祐 平原祐一 鈴木考二 和田淳二 山口幸男
2002年	L A1 A2 A3 A4 C1 C2 C3 D	宮島みどり 押尾明 土屋勝平 和田淳二 西村浩一 平原祐一 堀江真徳 小柳信久 栗本利也
2003年	L N1 N2 N3 N4 SA・SC1 SA・SC2 SA・SC3 D	宮島みどり 押尾明 中島孝恭 篠原高広 北村和利 山崎博 村瀬秋男 榎田正文 山口幸男
2004年	L N1 N2 N3 N4 SC1 SC2 SC3 D	山田ひとみ 平井祐一郎 藤井智行人 高木勝人 松原功治 中島孝恭 味岡孝とむ 榎田正文 鳥居晴彦
2005年	L N1 N2 N3 N4 SC1 SC2 SC3 D	渡邊尚美 押尾明 横内由充 廣上徹 中村慶治 中島孝恭 船塚仁嗣 伊藤祥充 小阪雄一
2006年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SC1 SC2 SC3 D	鎌田朱美 駒形雄 則信重 横内由充 廣上徹 松原功治 中島孝泰 三輪智広 竹平信幸

■ジムカーナ選手権

2007年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 D	津川眞由美 季羽史子 手藤啓二 安藤将志 安部洋一 岡部隆市 山本伸行 森嶋昭時 大橋渡徹 川村徹	朝子隆二 清啓一 剛洋市 隆公彦 正則志 徹		
2008年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 SC・D	奥井朝子 前田清隆 土手啓二 神山剛洋 安部隆市 岡部彦 成瀬公 角岡隆 吉野正 川村徹	朝子隆二 清啓一 剛洋市 隆公彦 正則志 徹		
2009年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 SC・D	奥井朝子 季羽史子 手藤啓二 榎本利弘 安部洋一 中農久弥 成瀬公彦 角岡隆志 吉野正則 川村徹	朝子隆二 清啓一 剛洋市 隆公彦 正則志 徹		
2010年	L S1500 N1 N2 N3 N4 SA1 SA2 SA3 SC・D	谷津治子 鶴飼洋一 杉山幸登 東山志一 安部匡洋 佐藤裕樹 山本誠光 前島孝光 野田タイソン 川村徹	朝子隆二 清啓一 剛洋市 隆公彦 正則志 徹		
2011年	L S1500 N1 N2 N3	村里仲川 土手山 東上本	早織樹 雅啓二 昌彦志 昌彦	N4 SA1 SA2 SA3 SC・D	岡部隆市 渡辺信吾 奥村和也 吉野正則 川村徹
2012年	L S1500 PN1 PN2 PN3 N2	森嶋由紀子 飯島かつこ 藤原宏明 鶴飼洋一 松本敏一 佐藤維是 大石博之	朝子隆二 清啓一 剛洋市 隆公彦 正則志 徹	N3 N4 SA1 SA2 SA3 SC・D	上本昌彦 松尾勝規 速田憲一 奥村和也 山梨俊二 川村徹
2013年	L S1500 PN1 PN2 PN3 PN4	村里佐藤 左手西 中川圭 小太田 太田大	早織樹 巧啓二 圭祐大	N2 N3 N4 SA1 SA2 SC・D	仲川雅樹 安部洋一 岡部隆市 近藤瑛貴 大須賀義外 春田徳生
2014年	L PN1 PN2 PN3 PN4 N2 N3 N4	村里星野 居小川 太田明 仲川雅樹 安部洋規 松尾勝	早織樹 潤真樹 真国大 明雅樹 洋規	SA1 SA2 SC・D	近藤瑛貴 大石博之 村上仁

■ダートトライアル選手権

2007年	L N1 N2 N3 N4 S1 S2 S3 S4 D	松下尚美 押尾明 本道治 前田蔵 大野純 駒形大 中島雄 村瀨孝 櫛田秋 渡辺正文 渡徹
2008年	L N1 N2 N3 N4 S1 S2 S3 S4 D	宮島みどり 福田一 松下和樹 松前和人 伏見二 伏見浩 居彦 中島晴 池島孝 谷谷欣 西村浩 西尾一 西尾実
2009年	L N1 N2 N3 S1 S2 S3 S4 D	土井直子 松下努 横井浩平 駒田竜司 平原祐一 中島孝 村瀨秋 櫛田正文 西尾実
2010年	L N1 N2 N3 S1 S2 S3 B D	土井直子 宮島みどり 山本悠貴 福澤叔雅 米澤秋光 大西重 村瀨克 三枝彦 池田量 蓮池之
2011年	L 1 2 3 4	土井直子 堀江真徳 大西雅也 村瀨秋光 三枝重光
2012年	L 1 2 3 4	土井直子 馬場基太 山本悠秋 堀江真徳
2013年	L 1 2 3 4 5	土井直子 横内基道 馬場秋夫 齊藤秋男 村瀨実 松原美
2014年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S2 S3 L	横内基道 馬場秋夫 齊藤俊和 村山晶 崎山治 西尾賢 中尾慶 可児遥

■ジムカーナ選手権

■ダートトライアル選手権

2015年	L S1500 PN1 PN2 PN3 PN4 N1 N2	榎山 貴子 石崎 聖 星野 潤 下原 幸登 小川 国大 江口 史亮 水野 俊一 安部 洋一	SA1 SA2 SA3 SC・D	小木曾 浩之 大須賀 義外 山田 拓 村上 仁	2015年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S2 S3 L	近藤 圭司 深谷 文彦 よしかわ 順一 村松 俊和 森 大土 村瀬 辰樹 原 実 可児 遥
2016年	L S1500 PN1 PN2 PN3 PN4 N1 N2	榎山 貴子 石崎 聖 渋谷 達也 大石 博之 小川 国大 角岡 志弘 榎本 昌彦	SA1 SA2 SA3 SC D	近藤 瑛貴 大須賀 義外 岡部 隆市 石井 公久 五十嵐 豊光	2016年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S3	横内 由充 深谷 文彦 前田 利幸 村松 俊和 広上 徹 松原 功治
2017年	L S1500 PN1 PN2 PN3 PN4	村里 早織 渡瀬 和則 小林 伸人 辺城 拓郎 西野 耕司 太田 明	SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	酒井 昭 榎本 利弘 森嶋 昭時 西田 哲弘 桃井 守 村上 仁	2017年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S3	横内 由充 馬場 基 浦上 真 村松 俊和 高木 勝人 堀江 徳
2018年	L PN1 PN2 PN3 PN4	村上 尚子 小川 国大 下原 幸登 磯村 良二 柳瀬 昌樹	SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	島田 昌典 榎本 利弘 安部 洋一 西田 哲弘 桃井 守 村上 仁	2018年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S3	横内 由充 天野 佳則 前田 利幸 村松 俊和 高木 勝人 松原 実
2019年	L S1500 PN1 PN2 PN3 PN4	村里 早織 小川 国大 森嶋 昭時 下原 幸登 柏木 良文 柳瀬 昌樹	SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	島田 昌典 榎本 利弘 安部 洋一 岡部 隆市 野中 信宏 佐藤 宗嗣	2019年	RWD PN/S1500 N1 N2 S1 S2	寺田 伸 天野 佳則 村松 俊和 村上 角好 松原 孝 実
2020年	L S1500 RPN1 RPN2 RPN3 PN1 PN2 PN3	全クラス 不成立	PN4 SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	全クラス 不成立	2020年	RWD PN/S1500 PN2 N1 N2 S1 S2	山口 順平 本道 治成 石川 純也 松岡 志 村松 剛和 村瀬 俊之 三枝 貴光 博
2021年	L L RPN1 RPN2 RPN3 PN1 PN2	渡邊 千尋 村上 尚子 河合 豊美 山崎 哲也 柏木 良文 不成立 鱈部 光二 土手 啓二郎	PN3 PN4 SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	磯村 良二 不成立 表 和之 佐野 光之 安部 洋一 堀 隆成 桃井 守 佐藤 宗嗣	2021年	RWD PN/S1500 PN2 N S1 S2	杉田 聡 岸 貴洋 片田 龍靖 三上 勝義 村瀬 貴之 松原 実
2022年	L AT RPN1 RPN2 RPN3 PN1 PN2	河合 豊美 大仲 敦 渡邊 庸仁 武藤 英司 不成立 森嶋 昭時 田村 直	PN3 PN4 SA1 SA2 SA3 SA4 SC D	磯村 良二 不成立 近藤 瑛貴 隅田 敏昭 小澤 忠司 松尾 規也 中村 友也 佐藤 宗嗣	2022年	RWD PN/S1500 PN2 N S1 S2	寺田 伸 天野 佳則 不成立 三浦 隆 横内 由充 松原 実
2023年	L AT PN1 PN2 PN3 PN4 PN5	工藤 実里 妖怪 J 清本 不成立 古田 公保 鈴木 勇一郎 安仲 慶祐 高木 健司	SA1 SA2 SA3 SA4 BSC1 BSC2 D	小武 拓矢 榎本 利弘 小澤 忠司 不成立 藤井 やしろ 鳥居 孝成 佐藤 宗嗣	2023年	2P RWD PN/S1500 N S1 S2	村瀬 秋男 寺田 伸 天野 佳則 角野 昭久 森 大土 松原 実

2025年JMRC中部選手権 表彰者名簿

◇JMRC中部ジムカーナ選手権

● ATクラス

1 若原 淳 SP-R

● PN1クラス

1 岡 直輝 M-I

2 河野 拓也 ENKEI

● PN2クラス

1 島倉 正利 EMOTION

2 本家 智久 M-I

3 前田 清隆 MSC-WAGO

4 前田 忍 Pleasure

5 古田 公保 M-I

● PN3クラス

1 田村 直 M-I

2 大多和 健人 AZUR-RS

3 安仲 慶祐 PALM TOWN

4 季羽 英史 SP-R

5 森嶋 昭時 K-one R

6 遠藤 貴郁 M-ARTS

● PN4クラス

1 深谷 宏幸 LD

2 則包 壮大 T.E.S

3 下河辺 友貴 M-I

● PN5クラス

1 高木 健司 Pleasure

2 大前 尚史 FORMULA

● B・SC1クラス

1 鈴木 教史 TOLAP

2 稲岡 凌平 M-I

● B・SC2クラス

1 近藤 瑛貴 TAKE'S

2 水谷 琢志 K-one R

3 最上 佳樹 M-ARTS

4 大石 博之 ENKEI

5 榎本 利弘 HRS

● B・SC3クラス

1 トミアルパカ K-one R

2 岩崎 玲生 T.E.S

3 中田 博信 KRM

4 石川 智祥 K-one R

● B・SC4クラス

1 松尾 勝規 T-URGENT

2 桃井 守 NRC

3 鳥居 孝成 R&R

● Dクラス

1 岸 正隆 M-I

レディースクラス

不成立

◇JMRC中部ダートトライアル選手権

● 2Pクラス

1	村瀬 秋男	CCST
2	正村 文利	CCST
3	永井 和浩	ATHLETE

● RWDクラス

1	名倉 陽太	FASC
2	上角 好孝	ANTELOPE
3	栢 康弘	ANTELOPE
4	横内 由充	T. E. S
5	小池 俊介	ENA. C
6	山崎 ユウタ	T. T. G

PN1/S1500 クラス

1	西畑 蒼	TEAM SCALAR
2	深見 延良	ATHLETE
3	岸 貴洋	T. T. G
4	川原 信是	PTA
5	樋口 哲也	T. T. G
6	那須 照英	T. T. G

● Nクラス

1	松井 哲史	ENA. C
2	村松 俊和	BMSC
3	久保川 裕行	RUNABOT
4	山内 友和	SHIROKIYA
5	鈴木 悦司	Vento's
6	角谷 卓昭	Vento's

● S1クラス

1	松原 功治	PALM TOWN
2	片田 龍靖	ENA. C
3	多門 寛晃	FASC
4	広上 徹	R-8 石川
5	伊與田 祐揮	Vento's
6	吉田 正沖	Vento's

● S2クラス

1	服部 雅士	SHIROKIYA
2	伊藤 祥充	CMSC 浜松
3	三枝 重光	CMSC 岐阜
4	小宮 僚	T. T. G
5	竹内 元哉	Vento's
6	前田 利幸	ANTELOPE

◇JMRC中部ジムカーナミドル選手権チャンピオン

●東海シリーズ

AT	妖怪J 清本	yohkai	CPN1	海野 貴裕	M-I
PN1	河野 拓也	T. E. S	PN2	加藤 大輝	GCRT
PN3	村上 晋二郎	KYB	PN4	渡部 良知	AZUR-RS
PN5	不成立				
CRB1	船迫 昌平	T. E. S	RB1・2	鈴木 教史	TOLAP
RB2000	山崎 僚太	DMSC	RB3	伊達 陽一郎	TOOLBOX
B・SA1	安藤 昇司	SP-R	B・SA2	不成立	
B・SA3	不成立		Women's	みさき	T. E. S

◇JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ

○ ドライバー部門

● DE1クラス

1	高畑 智之	TCNC
2	伊藤 淳郎	C. S. LEMAN
3	中嶋 健人	Pleasure

● DE2クラス

1	鈴木 海斗	SWIFT
2	浅井 康介	MASC
3	新堂 啓太	SHIROKIYA
4	山口 航平	SHIROKIYA
5	下口 紘輝	SHIROKIYA

● DE5クラス

1	明治 慎太郎	TAKE' S
2	伊藤 祐悟	MASC
3	小土橋 宏紀	TASC
4	伊藤 裕哉	K-one R
5	田中 佑樹	SWIFT
6	城野 真輝	GCRT

● DE6クラス

1	横山 慎太郎	MASC
---	--------	------

○ コ・ドライバー部門

● DE1クラス

1	大西 紗智	PUMA
2	杉原 慶彦	R&R
3	鈴木 真由美	AIM
4	白川 和樹	Pleasure

● DE2クラス

1	栗川 創	SWIFT
2	船木 一祥	MASC
3	中島 大貴	NUAC
4	村山 朋香	MASC
5	吉田 大樹	MASC
6	岩本 映	T-321

● DE5クラス

1	坂口 元弥	Duckbill
2	船木 淳史	MASC
3	牛田 啓太	TASC
4	渡部 世季香	K-one R
5	中島 秀一朗	SWIFT
6	山本 哲士	DMSC

● DE6クラス

1	立原 佳孝	MASC
2	長崎 雅志	NAVUL

◇JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ

○ドライバー部門

1	亀石 典	TRT
2	神田 悠悟	SHIROKIYA
3	川瀬 慈恩	MASC
4	稲垣 拓弥	TAKE' S
5	岩井 智紀	T. WOT
6	山田 秀司	RST

○コ・ドライバー部門

1	神田 英樹	SHIROKIYA
2	中根 達也	TRT
3	吉田 大樹	MASC
4	秋元 洋輝	TAKE' S
5	二石 佳南	TRT
6	川島 健司	RST

JMRC中部2026年度オーガナイザー連絡先（アルファベット順）（www://jmrc-chubu.gr.jp）

オーガナイザー	略称	連絡担当者	郵便番号	住所	TEL
東濃カーズ [®] -ツクラフ [®]	CCST	村瀬 秋男	509-5142	岐阜県土岐市泉町久尻1417-47	090-3300-5034
ENAモーターズ [®] -ツクラフ [®]	ENA. C	三枝 光博	509-8301	岐阜県中津川市蛭川5736-1	090-1419-5318
エフ・オートスポーツ [®] -ツクラフ [®]	FASC	嶽下 宗男	470-0331	愛知県豊田市平戸橋町永和8-32	090-2685-2944
チーム・リミット	LIMIT	木村 政伸	472-0045	愛知県知立市長篠町新田23-7	0566-83-0030
モンテカルロオートスポーツ [®] -ツクラフ [®]	MASC	米谷 展生	480-1103	愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池20-1	0561-63-0103
美浜モーターズ [®] -ツクラフ [®]	MMSC	岩月 辰文	446-0007	愛知県安城市東栄町2-7-13	080-5168-5417
チーム・EAT1	M-I	前島 孝光	432-8015	静岡県浜松市中央区子安町302-7	090-8151-5407
名古屋レーシング [®] クラブ [®]	NRC	青木 啓児	454-0841	愛知県名古屋市中川区押元町1-21-2	090-4178-1963
トライアルスタッフオン!	ON!	竜田 健	513-0041	三重県鈴鹿市長太新町4-2-36	059-385-4019
パームタウン	PALM TOWN	岩月 辰文	446-0007	愛知県安城市東栄町2-7-13	080-5168-5417
アールエスタダ [®]	RST	池田 峰輝	468-0013	愛知県名古屋市長太新町2丁目1315番アールエスタケダ内	052-802-0647
チーム・シエラトン	SHERATON	三浦 悦子	432-8033	静岡県浜松市中区海老塚2-25-36	053-455-3577
チームシロキヤ	SHIROKIYA	新堂 啓太	444-1206	愛知県安城市城ヶ入町高根3番1	090-5030-3332
チーム・オブ・モーター・ポーツ [®]	TOMBO	塩岡 雅敏	930-0982	富山県富山市荒川1-2-18	090-8702-1216
チームTガレージ [®]	T. T. G	寺田 伸	474-0052	愛知県大府市長草町車池16-229	0562-48-4745
チームゼスト	ZEST	松下 和樹	472-0045	愛知県知立市長篠町新田23-7	0566-83-0030

※上記の連絡先と各競技会の参加申込先とは異なる場合があります。念のために各競技会の特別規則書をご覧ください。

※競技会の特別規則書は、JMRC中部公式サイトに掲載されるものも有ります。参加申込書も公式サイトから入手できますのでご利用ください。

JMRC中部モータースポーツハンドブック 2024

令和8年3月 発行

製作 JAF 中部地域クラブ協議会 (JMRC 中部)

所在地 〒509-5142

岐阜県土岐市泉町久尻1417-47

TEL/FAX (0572) 55-5201

<http://www.jmrc-chubu.jp/>